



改正日本地誌要畧

大槻修三著述

一

卷一
總論
兩京
畿内

ル 3
3650
1



門 3
號 3650
卷 1

改正日本地誌要略

例言三則

一本書

第一版ハ明治八年十月ニアリ全部五卷トス同

西曆

三月第一第二ノ兩卷ヲ増訂シテ三卷トシ全部

六卷ヲ以テ之ヲ再版ス當時數縣ノ小學教課書ニ採用

セラレテ其發兌ノ部數ハ前後殆五萬ノ多キニ至レリ

同十五年十一月又全部ニ改正ヲ加ヘテ第三版ヲ開ク

此書是ナリ本年七月文部省更ニ師範學校教課書ヲ選

定サレ此書復其課目中ニ加ヘラレタルハ實ニ余ノ光

榮ト云フベシ其方今文化日ニ加リ工業年ニ進ム故ニ

道路ノ改修及ビ原野ノ開墾ヨリ缺道運河海港等此書

ノ載スル所既ニ其實地ト相合ハザルモノ少カラザル
ベシ然レ氏必其新事業ヲ記セントセバ毎月毎歳ノ改
刪ヲ加フルモ遂ニ其實事ヲ舉グル能ハサラン覽者
之ヲ諒セヨ

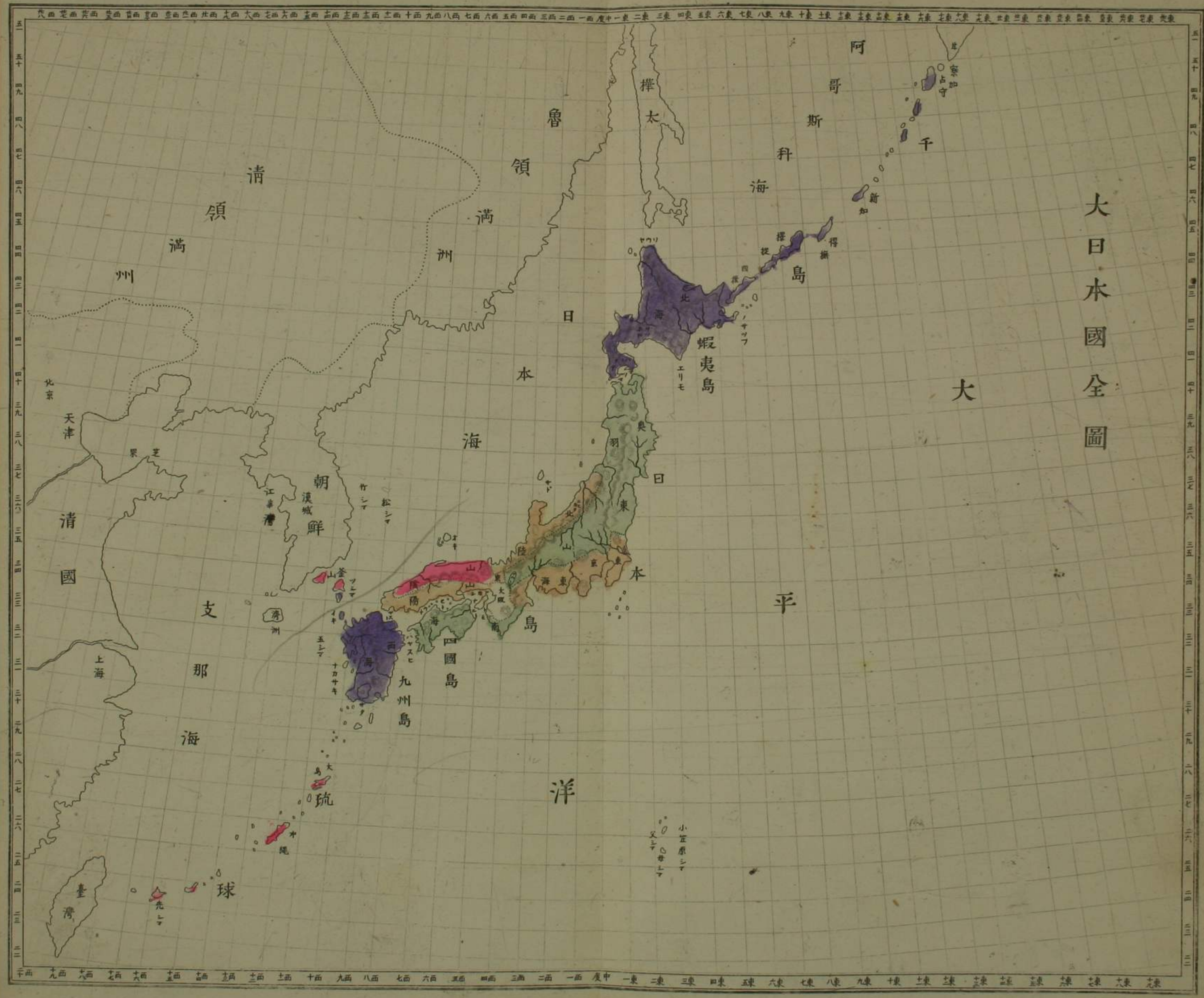
一此書ノ首ニ東西兩京ヲ別記スルハ第二版ヨリ此書體
ヲ創ム而テ去歳政府大改革ノ後ハ官省其他各般ノ名
稱位置モ亦從ヒテ廢置變革アリ今一々之ヲ改ムルニ
由ナシ東京ノ如キハ殊ニ多シ覽者其異同ヲ咎ムル
勿レ

一明治五年九月東京師範學校始テ建ツ其教課書トシテ
開版セラレシ日本地誌略ハ余ガ囑託ヲ受ケテ之ヲ草

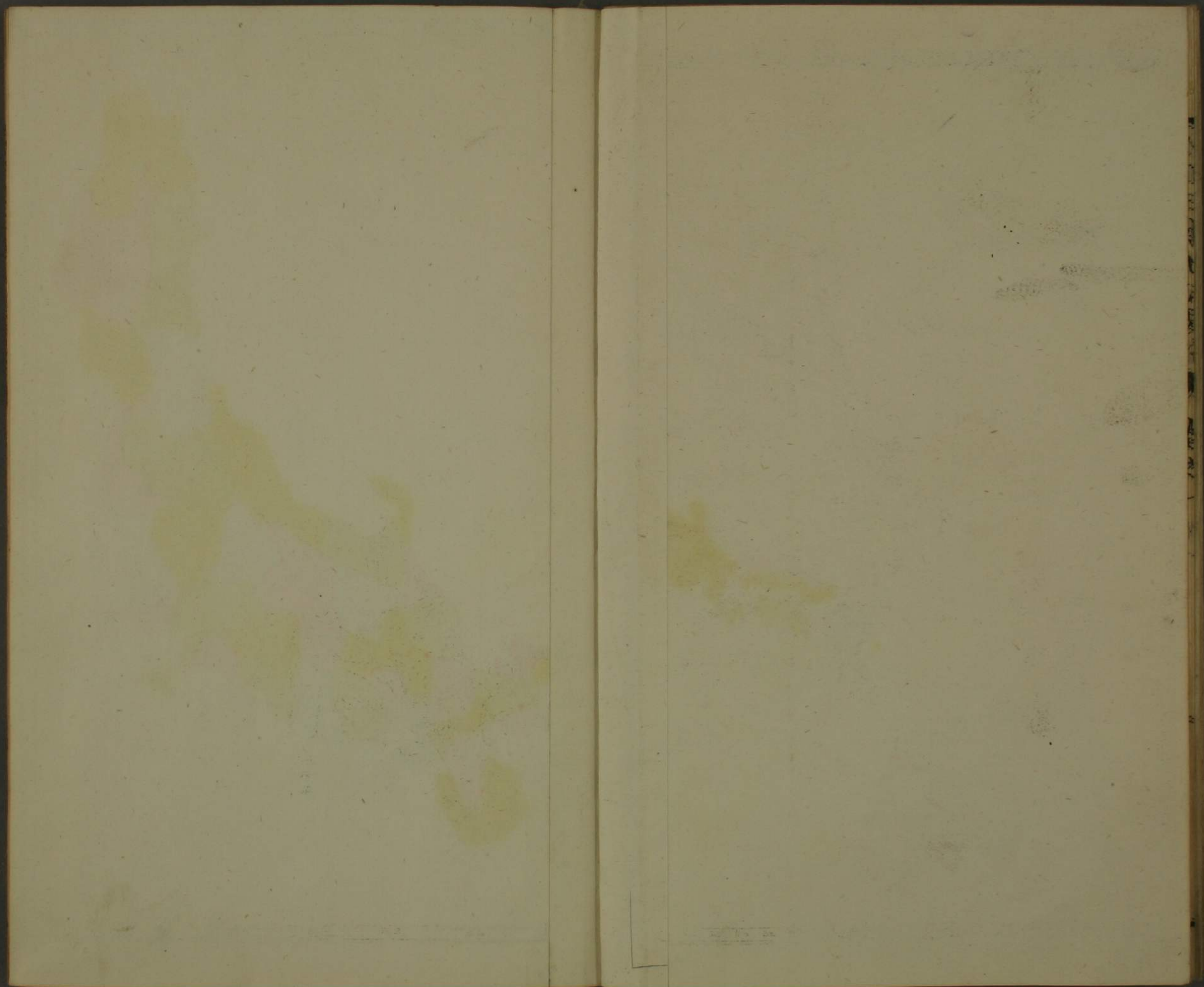
セシ者ナリ其後文部省ニ於テ訂正出版然レ氏引用ノ
書ニ乏シカリシカバ考據甚艱ニ百方搜索シテ纔ニ能
ク編ヲナシ又其後日本地誌提要方ニ成ル八年一月上
行ハ尚後數余幸ニ其全書ヲ一覽スルヲ得テ此地誌
要略ヲ撰セシナリ爾時國郡ノ沿革ヲ述ベテ其後ニ附
載セントセシガ訂正尚其功ヲ畢ヘザレバ空シク之ヲ
筐底ニ藏スルヲ十餘年ナリキ抑モ古今ノ開化ヲ通覽
セントスルハ意ヲ土地境域ノ遷轉ニ注ガズバアルベ
カラズ我國二千五百年間其國土ノ沿革豈ニ之ヲ等閑
ニ付スベケンヤ近日本書第四版ノ舉ヲ待テ國郡志要
ヲ刊行シテ之ヲ世ニ示サントス

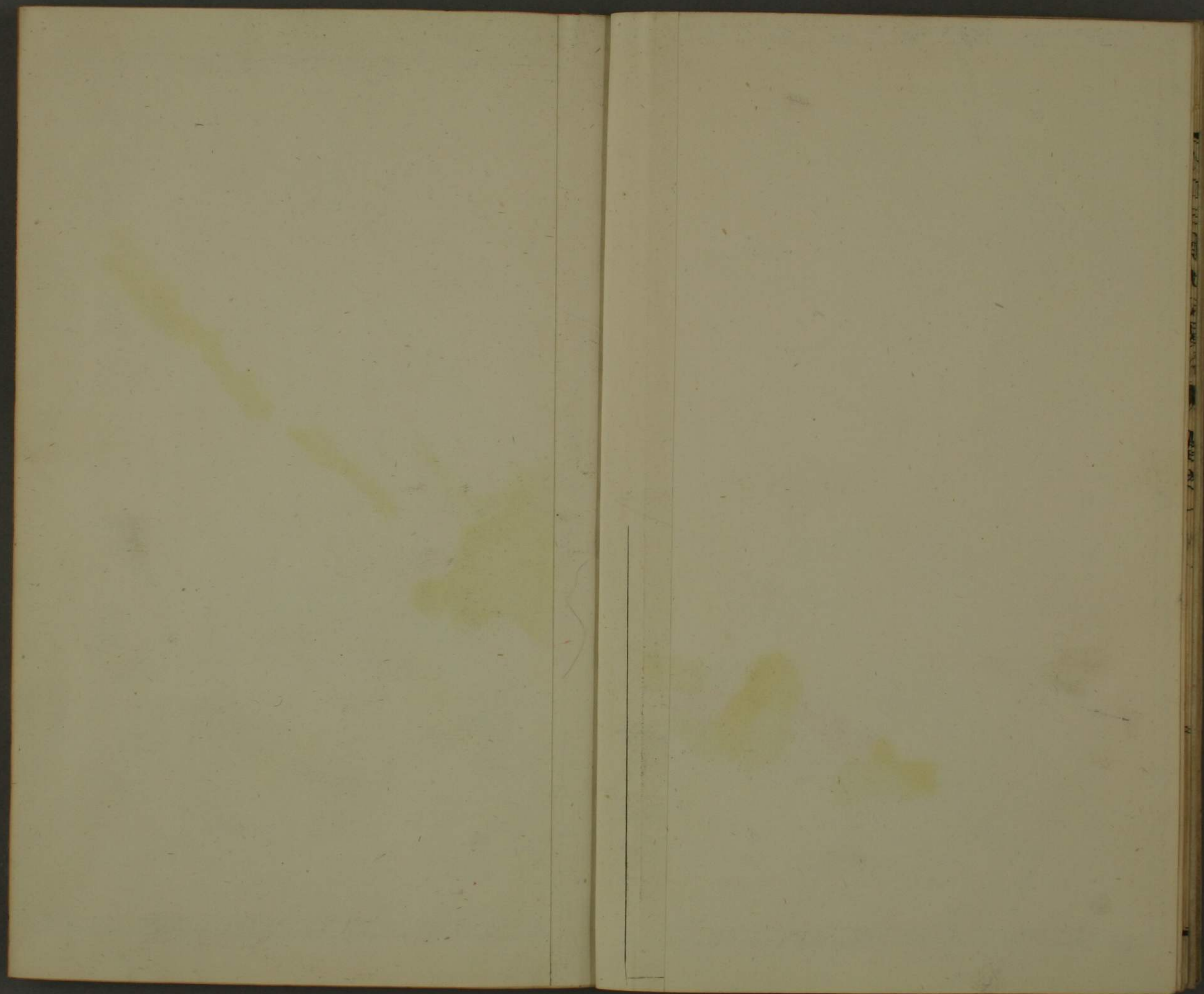
明治十九年七月

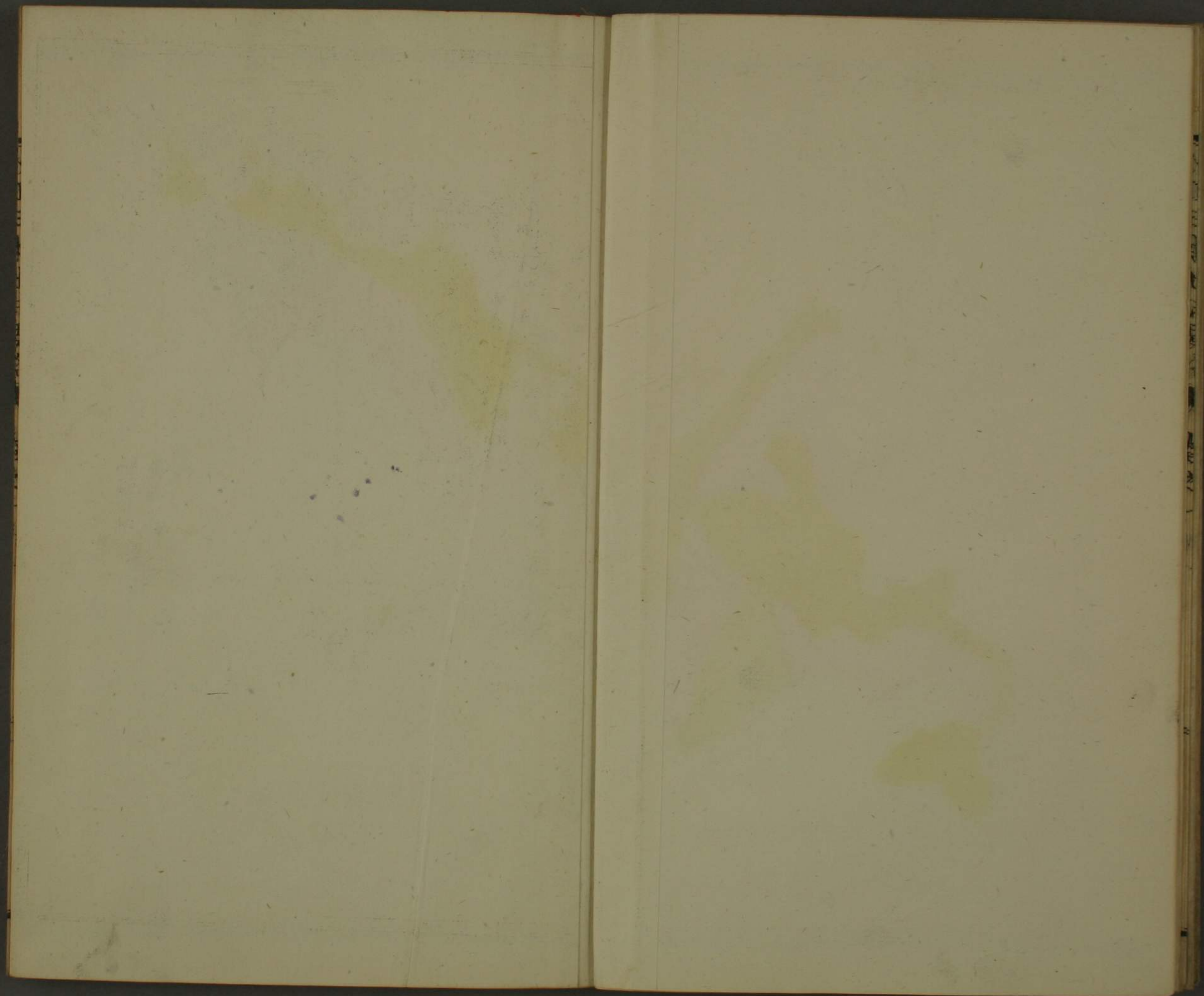
大槻修二 識

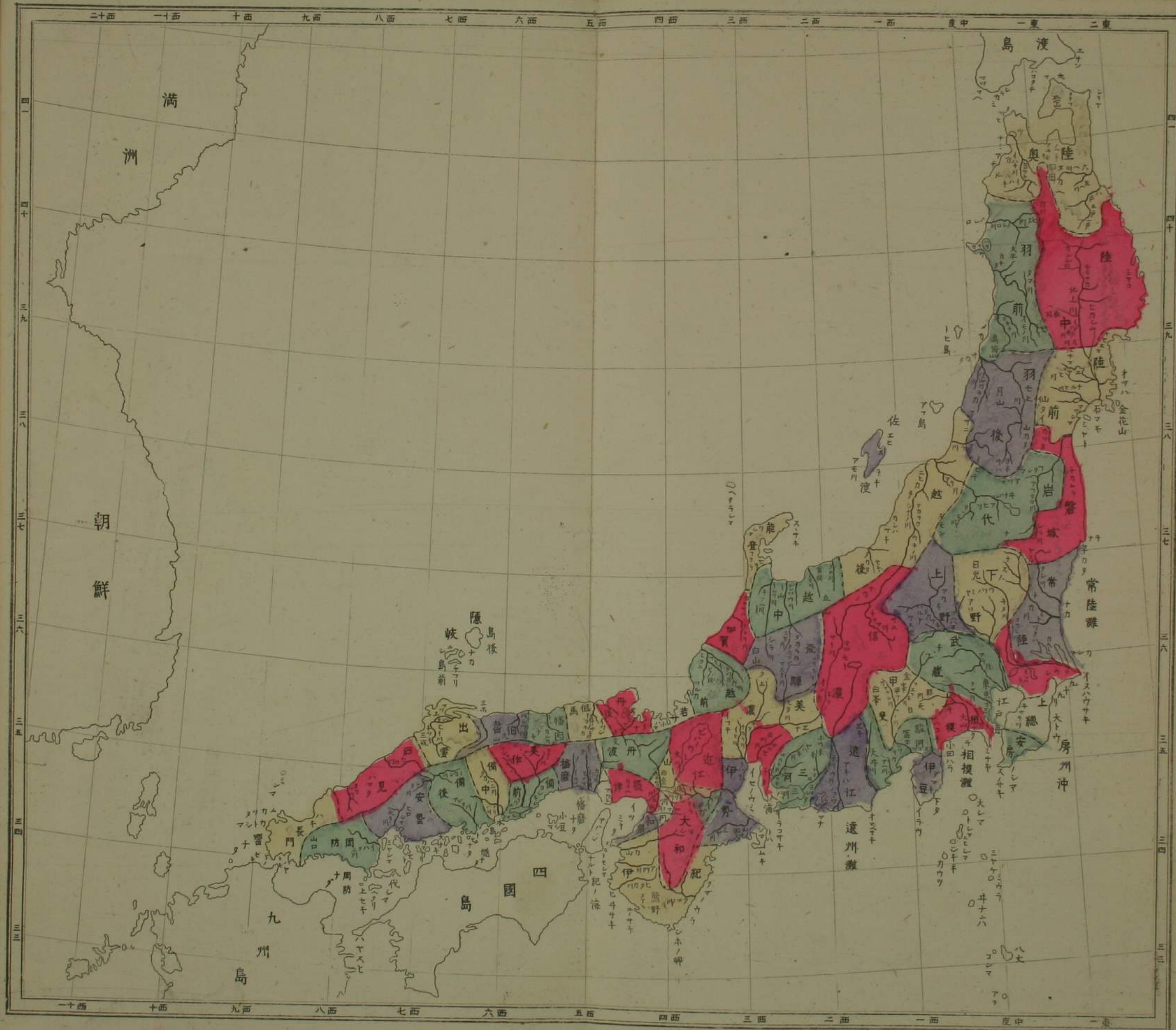


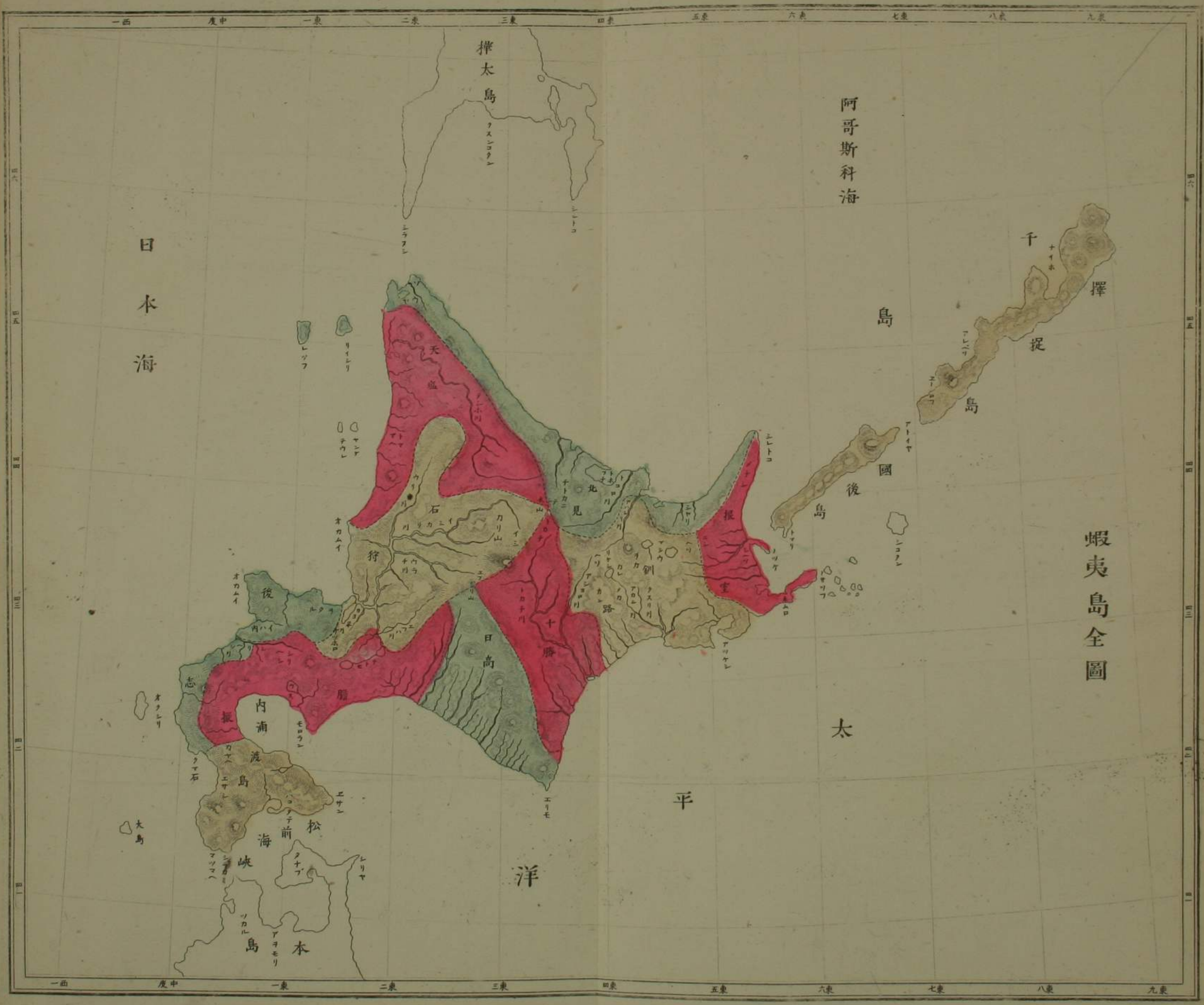
已丑月方共話與田
卷之一











日本海

阿斯科科海

蝦夷島全圖

太平洋

洋

平

樺太島

千

擇

捉

島

島

後

國

島

後

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

島

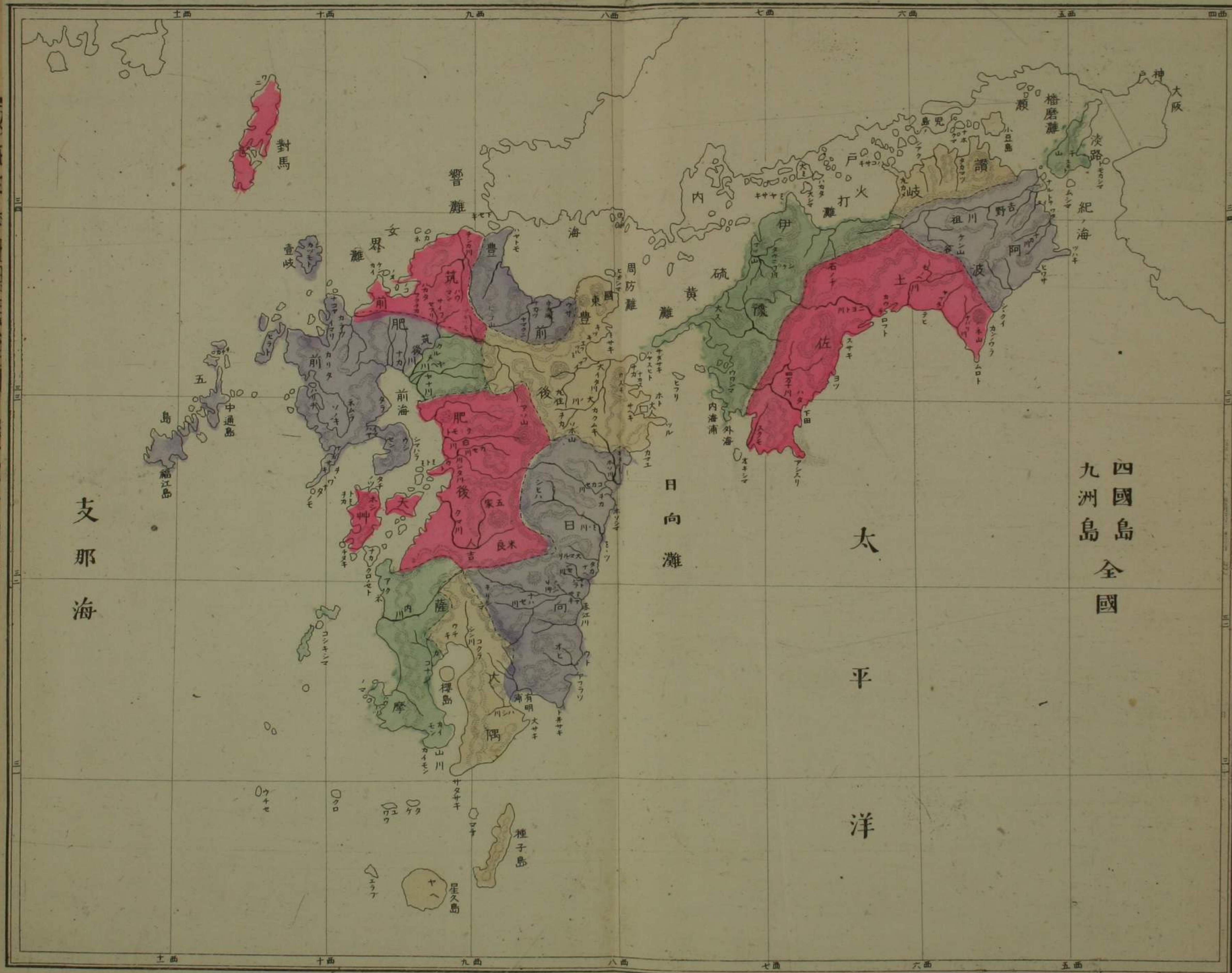
島

島

島

島

島</



四國島
全國

太
平
洋

日
向
灘

支
那
海

改正日本地誌要略卷一

東京 大槻修二著

總論

大日本國ハ、亞細亞洲中ノ獨立帝國ニシテ、洲ノ東方ニ居
リテ太平洋ノ西北ニ並列セル嶋國ナリ、

位置ハ北緯二十四度零六分波照間嶋ヨリ起リテ五十度一十

六分洗戸島ニ終ル、經度ハ英國綠威ノ東經百二十二度四十

五分國與那ヨリ百五十六度三十二分占守ニ至ル、幅員ハ二

万四千七百九十四方里ニシテ、人口三千八百十五万アリ

地勢ハ四大嶋本島及四國嶋ト四千餘ノ嶋嶼ト列ネテ

東北ヨリ斜ニ西南ニ亘ルヲ一千三百里ニ及ベリ、東南ハ

日本ノ字ヲ用ヘ
シハ第三十七代
孝德帝ヨリ也

日本ノ位置

日本ノ地勢

日本ノ氣候
區劃

共ニ太平洋ニ向ヒテ、洋中ニ小笠原嶋アリ、西ハ支那海ヲ隔テ、清國ニ對シ、沖繩嶋其東南ヲ限リテ、與那國嶋ハ直ニ其國ノ臺灣嶋ニ接セリ、北ハ滿州ト日本海ヲ包ミテ、其北隅ハ、魯西亞國ノ樺太嶋ト宗谷海峡ヲ夾ム、峽外ニ蝦夷海アリ、千嶋其東ニ連リテ、占守嶋モ亦魯國ノ甘察加岬ト相望ム、對馬嶋ハ、朝鮮國ト海峡ヲ夾ミテ日本支那兩海ノ分界ニ立テリ、氣候ハ、南北其寒熱ヲ異ニスルヲ殆別境、如シ、沖繩嶋小笠原嶋等ハ、終歲嘗テ霜雪ヲ見ザレドモ、蝦夷嶋ハ、積雪其通路ヲ絶チテ、千嶋ハ必、氷海トナル、邦制ハ、全國ヲ九部ニ分チ、畿内ヲ中央ノ基ト定メテ、東海

元服市ノ天
令國名郡名
用凡テ二字
ルベシトナリ

東山北陸北海山陰山陽南海西海ノ八道ヲ建テ、合テ八十
五國七百十九郡ナリシガ、郡區ノ制定ルニ及ビ、廢置分合
アリテ三十六區八百五郡トナル
畿内五國五十五郡
山城八郡葛野 綴喜 相愛 乙訓 紀伊 宇治 久世
大和十五郡宇智 吉野 廣瀨 高市 葛上 葛下 忍海
河内十六郡八上 大縣 安宿 志紀 澁川 丹北 高安
和泉四郡大鳥 和泉 泉南 日根
攝津十二郡東成 西成 住吉 嶋上 嶋下 豐嶋 能勢 川邊 武庫 菟原 八部 有馬

東海道十五國一百二十九郡

伊賀四郡 阿拜 山田 伊賀 名張

伊勢十三郡 桑名 員辨 朝明 三重 飯高 飯野 鈴鹿 多氣

志摩二郡 答志 英虞

尾張八郡 愛智 知多 丹羽 春日井 西

三河八郡 寶飯 額田 樂西 賀茂 西 海 幡豆

遠江十二郡 濱名 設樂 智 引佐 長上 豐田

駿河七郡 志太 富津 有 渡 安 倍 野 城 東 榛原

甲斐四郡 山梨 西 八代 西 巨麻 北 中 都留 北 南

伊豆四郡 田方 山 君澤 那賀 西 賀茂

小笠原嶋

相模九郡 足柄上 足柄下 鎌倉 綾 大 住 愛甲

武藏二十二郡 豐嶋 高座 下 鎌倉 綾 大 住 愛甲

安房四郡 平群 新座 安房 長狹 足立 朝夷 葛飾 北 南 高麗

上總九郡 天羽 周 淮 望 陀 市原 夷隅 埴生 上

下總十二郡 千葉 葛飾 北 東 中 射 印 幡 埴 生 下 香取

常陸十一郡 筑波 河內 信太 新治 行方 鹿嶋

東山道十三國一百三十二郡

近江十二郡	滋賀	高嶋	栗太	甲賀	野洲	蒲生	伊香
美濃二十一郡	神崎	愛知	犬上	坂田	淺井	西原	安八
飛驒三郡	中嶋	加茂	可兒	土岐	惠那	海西	
信濃十郡	益田	大野	吉城	田不	山縣	那波	
上野十四郡	更科	高井	勢多	北山	甘樂	那波	
下野九郡	新田	利根	多馬	北山	田樂	那波	
磐城十四郡	伊具	櫛葉	石川	行方	宇多	菊多	
岩代九郡	伊具	櫛葉	石川	行方	宇多	菊多	
陸前十四郡	栗原	志田	遠田	黑川	加美	鹿登	

陸中十郡	本吉	磐井	氣山	膽澤	岩手	和賀	稗貫	紫波
陸奥四郡	津輕	南東北	中	北	三戸	二戸	鹿角	
羽前四郡	置賜	南東北	村山	最上	田川	西		
羽後八郡	飽海	由利	雄勝	平鹿	仙北	河邊		
北陸道七國三十二郡	遠敷	大飯	丹生	足羽	吉田			
越前八郡	敦賀	南條	今立	丹生	足羽	吉田		
加賀四郡	江沼	能美	石川	河北				
能登四郡	羽咋	鹿嶋	鳳至	珠洲				
越中四郡	新川	婦負	礪波	射水				

越後七郡 岩船浦原 魚沼 蒲原 越中 三嶋 古志 刈羽
佐渡三郡 雜太 羽茂 加茂

北海道十一國八十七郡

渡嶋六郡 松前 上磯 龜田 茅部 檜山 爾志

後志十七郡 古平 奧尻 久遠 太櫓 瀨棚 嶋牧 壽都
石狩九郡 札 纒 石狩 厚田 高嶋 濱益 樺戸 雨龍

天鹽六郡 增毛 留萌 苦前 天鹽 中川 上川

北見八郡 網走 禮文 宗谷 枝幸 紋別 常呂

膽振八郡 山越 蛭田 有珠 室蘭 纒別 白老

日高七郡 虻田 新冠 静内 三石 浦河 樣似

十勝七郡 廣尾 當緣 十勝 上川 中川 河東

釧路六郡 白糠 足寄 釧路 阿寒 川上 厚岸

根室五郡 花咲 根室 野付 標津 芽梨

千嶋八郡 國後 擇捉 振別 紗那 藻取 得撫

以上四道ヲ畿内ノ東北トス

山陰道八國五十三郡

丹波六郡 桑田 船井 何鹿 多紀 冰上 天田

丹後五郡 加佐 與謝 中 竹野 熊野

但馬八郡 城寄 出石 美舍 二方 氣多 七美

因幡八郡 岩井 法美 智頭 邑美 八東 高草 久米

伯耆六郡 會見 日野 汗入 八橋 久米 河村

出雲十郡 嶋根 能義 意宇 秋鹿 楯縫 出雲

石見六郡 安濃 通摩 邑智 飯石 美濃 鹿足

隱岐四郡 知夫 海士 周吉 穩地

山陽道八國八十一郡

播磨十六郡 神明 西石 加古 印南 美囊 多加 神東

美作十二郡 英多 粟吉 佐用 赤穂 勝北 久米 西條

備前八郡 津和 氣真 嶋久 庭上 御野 磐梨 赤阪

備中十一郡 上小 房田 阿賀 下道 窪屋 都宇 賀陽

備後十四郡 安那 深津 沼隈 御調 蘆田 品治

安藝八郡 豐田 賀茂 安藝 高宮 高田 山縣

周防六郡 吉敷 佐波 都濃 熊毛 玖珂 大嶋

長門六郡 阿武 大津 美禰 厚狹 豐浦 見嶋

南海道六國五十二郡

紀伊七郡 牟婁 東海 那賀 伊都 有田 日高

淡路二郡 津名 三原 那賀 伊都 有田 日高

阿波十郡 板野 阿波 三好 美馬 麻殖 名東

讚岐十二郡 大內 寒川 三木 山田 香川 阿野

伊豫十四郡 宇摩 新居 周市 桑村 越智 野間 伊豫

喜多 宇和 南 美 長岡 土佐 吾川 高岡

西海道十二國九十八郡

筑前五郡 遠賀 那珂 嘉麻 穗波 宗像 糟屋

筑後十郡 三潯 上座 御井 山門 三池 竹野 生葉

豐前八郡 企救 下田 佐川 京都 仲津 築城 上毛

豐後八郡 大國 東野 速見 大分 玖珠 日田 直入

肥前十一郡 基肄 養父 三根 神崎 佐賀 小城 北西

肥後十五郡 玉名 山鹿 菊池 阿蘇 下益 志 宇土 本

日向五郡 白杵 葦北 兒湯 諸縣 鹽宮 崎那 珂嶋

大隅九郡 熊毛 桑原 始良 贈 肝屬 大隅

薩摩十三郡 阿多 日置 給黎 揖宿 穎娃 川邊

壹岐二郡 石田 壹岐

對馬二郡 上縣 下縣

琉球 郡制未建

以上四道ヲ畿内ノ西南トナス

四大嶋ノ形勢ハ中央ノ大嶋ヲバ本嶋トス西ニ二嶋アリ
 テ其西ナル者頗大ナリ九州嶋ト云ヒ東ナル者稍小ナリ
 四國嶋ト云フ而テ北ノ一嶋ヲ蝦夷嶋トス
 日本嶋ハ國ノ本嶋ニシテ中ニ畿内及五道ヲ置ク其地勢

日本國ノ古名ヲ
 大八島ト云ヒシハ
 漢書島傳ニ

筑紫島伊岐
島津島佐度
島大嶺豊秋津
島是より

ハ、南北二百里、折レテ西ニ亘ル二百八十里、周回一千九百
里ニシテ一萬四千五百方里アリ、其幅ノ廣キハ百里ヨリ、
狹キハ三十里ニ至ル、故ニ全嶋ノ形、狹長ニシテ屈折シ、恰
蛟龍ノ身ヲ起スガ如シ、畿内ヲ腰トシテ、東山道ハ背脊ノ
地位ニ亘レリ、東海、北陸ノ二道ハ、其左右ノ脇肋ニ屬シテ、
關東ノ地、其肩ニ當レリ、頭首ハ、北ニ向ヒテ直立ス、左右皆
海、是ヲ奥羽トス、上ニ大灣アリテ、口ヲ開クガ如シ、安房能
登ノ兩半嶋ハ、兩足ノ狀ヲナシテ、近江ノ湖、其臍ニ當ル、山
陰、山陽ノ兩道ハ、尾ニ屬シテ、其幅甚狹シ、夫龍ヲ畫クニハ、
首肩腰尾ノ間、各其長ヲ均シクスト、其法克ク此嶋ノ形狀
ニ適ヘリ、

九州嶋ハ、本稱ヲ筑紫嶋ト云フ、周回ハ八百里、南北百里、東
西ハ三十里ヨリ七十里ニ至ル、幅員ハ二千六百方里ニシ
テ、中ニ九國アレバ九州嶋ト呼ブ、其形ハ猿猴ノ立チテ舞
フ者ノ如シ、正北ハ、早鞆瀬戸ヲ隔テ、本嶋ノ西端ニ接シ、
東ハ速吸戸ヲ以テ四國嶋ト海峡ヲ夾ム、此九州ハ壹岐對
馬琉球ノ三嶋ヲ合セテ西海道トス、

四國嶋ハ、嶋中ニ國四箇アルヲ以テ此名アリ、東西八十里、
南北三十里、周回四百五十里ニシテ、千百八十方里アリ、嶋
形ハ蝙蝠ノ兩翼ヲ張ルガ如シ、此嶋ハ、畿内ノ南ニ接セル
紀伊國及淡路嶋ヲ合セテ南海道トス、而テ淡路嶋ト相夾
ム海峡ヲ鳴門トシ、其淡路嶋ノ北端ハ、又本嶋ト明石瀬戸

ヲ夾ム、故ニ四國嶋ノ北面ハ、山陽道ト相對シテ兩地甚相逼ル、且數百ノ嶋嶼、其間ニ並ビ列リテ、西南ハ早鞆速吸ノ兩海峡ニ至リ、東南ハ、明石、鳴門ヲ限リテ東西百餘里、一ノ内海ヲナセバ瀨戸内海ノ稱アリ、

蝦夷嶋ハ、其形鯨魚ノ尾ヲ奮フニ似タリ、周回五百八十里ニシテ五千方里アリ、東西百七十里、南北百二十里、其南端ハ、本嶋ト松前海峽ヲ夾ム、此嶋ハ古ヨリ蝦夷地ト呼ビテ國土ノ經界モナカリシガ、明治二年、新ニ國郡ヲ建テ、千嶋ヲ合セテ北海道ト稱ス、

全國ノ山脈ハ、千嶋ヨリ亘リ來リテ蝦夷嶋ニ連リ、阿寒、十勝、石狩、夕張ノ諸岳相並ビテ共ニ西ニ赴キ、後志岳ヨリ南

ニ轉ジテ駒岳、惠山ニ盡ク、其脉ハ松前海峽ヲ隔テ、恐山ニ連リ、甲田山其南ニ峙チテ本嶋ノ背脊ニ亘レル大山脈ヲ起ス、奥羽ノ中央ハ、崑崙山、栗駒山、刈田岳、吾妻山等、其最大ナル者ナリ、其西ノ支脈ニ鳥海山、月山、朝日岳アリ、相並ビテ南ニ亘リ、岩代ヲ抱キテ、西ハ飯豐守門ノ諸岳トナリ、東ハ安達太郎山、那須岳トナリ、共ニ關東ノ北隅ニ集リテ日光山、最高シ、山脈是ヨリ西ニ折レテ北陸、東山兩道ノ際ニ亘リ、支脈ヲ南ニ分チテ淺間岳ニ連ヌ、其正脈ハ西ニ直行シテ、戸隱妙高ノ諸山トナリ、立山特ニ峻秀ニシテ、再支脈ヲ南ニ分チ、飛驒ヲ抱キテ、衆鞍岳、御岳其中ニ高シ、白山ハ、正脈中ノ大岳ニシテ、富士山、立山ト三高山ノ稱アリ、

白山ヨリ正北ニ分ル、支脈ハ、日本海ニ突出シテ能登ノ
半嶋國ヲナセリ、大日岳荒嶋岳等ハ、白山ノ西ニ並ビ立
チテ、尚西ニ赴キ、復支脈ヲ伊吹山ニ分テリ、正脈ハ又西ニ
赴キテ、直ニ山陰山陽兩道ノ分界ヲ限リ、丹波ヲ包ミテ千
丈岳、豹山トナリ、美作ヲ抱キテ、那岐山、大山トナル、船通美
古登三瓶、十方木谷、德佐ノ諸山、相連リテ、方便山ヨリ豐浦
山ニ盡ク、即早鞆瀬戸ニシテ、以上ノ連山ヲ本嶋ノ大山脈
トス、九州嶋尚其脈ヲ承ケテ、南ニ環リ、彦山、九重山、阿蘇山、
祖母山、霧嶋山等、相連リテ、九國ヲ東西ニ分チ、櫻嶋岳、開聞
岳ニ至リテ絶ユ、屋久嶋ノ八重岳、其海上ニ峙チテ、寶七嶋
ニ連リ、遂ニ大嶋、沖繩嶋、先嶋ニ亘リテ、湯灣岳、國頭岳、佳楚

岳於茂登岳トナル、是ヲ全國ニ連亘セル大山脈ノ首尾ト
ス、支脈ノ大ナル者二條アリ、其一ハ淺間岳ヨリ南ニ赴キテ
本嶋ノ中央ヲ限ル者トス、碓氷山、秩父山等、共ニ關東ノ西
境ニ並ズ、富士山ハ、三高山ノ第一ニシテ、我國無雙ノ大
岳ナリ、其脈ノ南端ニ立チテ、太平洋ニ臨メドモ、其尚南ニ
走ル者ハ、足柄箱根ノ諸山ヨリ、天城山ニ連リテ、伊豆ノ半
嶋國ヲ起シ、其餘脈、直ニ洋中ニ散布シテ、伊豆七嶋トナリ、
遂ニ小笠原嶋トナリテ、大洋洲ノ群嶋ニ列レリ、又、秩父山
ヨリ西ニ亘ル連山ハ、金峯、白峯等ハ、甲斐ヲ包ミテ、海山兩
道ノ際ヲ限リ、惠儀、惠那ノ諸山トナリテ、御岳ノ脈ト相合

へリ、其二ハ伊吹山ヨリ南ニ亘ル者ニシテ、亦本嶋ノ中央ヲ限レリ、靈山、鎌岳、綿向山、鈴鹿山、信樂山等、相連リテ伊賀ヲ包ミ、其南端ハ吉野熊野ノ群山トナリテ太平洋ノ岸ニ盡ク、又吉野山ヨリ西ニ分ル、者ヲ葛城山トス、其山脈ハ畿内ノ南境ヲ限リテ相連ル、二十里共ニ同稱ヲ以テコレヲ呼ブ、其脈絶ユル處ニ苦嶋アリ、即本嶋ト淡路嶋ト相夾ム海峽ニシテ、山脈ハ又鳴門ヲ踰エテ四國嶋ノ中央ニ亘リ、劍山、三瀧山、瓶森、石槌山等、四國ヲ南北ニ分チテ、亦南洋ノ岸ニ絶ユ、本支山脈ノ連山ハ、皆火山ノ脈ニ當リテ、阿寒岳、惠山、恐山、那須岳、淺間岳、妙高山、立山、及阿蘇霧嶋、櫻嶋等ハ、共ニ有名ノ噴火山ニシテ、千嶋兩七嶋ノ峯尖ハ、

全國河水流
通ノ方向

大率皆硫焰ヲ噴ク、全國ノ河水ハ、皆源ヲ此本支山脈ノ際ニ發スル者ニシテ、各分レテ四方ニ流レ下ル、蝦夷嶋ハ、十勝川、釧路川共ニ南ニ流レテ太平洋ニ注ギ、石狩、天鹽、後志、利別ノ諸川ハ、悉西流シテ日本海ニ入ル、石狩川ヲ我國第一ノ大川トス、本嶋ハ、奥羽ニ於テ北上、逢隈ノ兩大河共ニ東洋ニ入リ、最上御物米代、岩木ノ四川ハ、日本海ニ注グ、關東ノ利根川ハ、八州大半ノ水ヲ集メテ東洋ニ入リ、荒川ハ、其中央ヲ環リ流レ、東京ニ至リテ江戸海ニ注グ、相模川、富士川ハ、各富士山陰ノ水ヲ集メ、大井川、天龍川、木曾川ハ、源ヲ山道ニ發シ、五川同ジク南ニ下リテ安倍川、豐川、矢矧川等ト、共ニ海道

ノ巨川トナル千曲川ハ本嶋第一ノ大川ニシテ亦山道ヨ
リ出デ北ニ流レテ日本海ニ入ル阿賀川神通川モ其發源
ヲ同クシテ黑部射水手取安居ノ諸川ト共ニ北陸七大河
ノ稱アリ淀川ハ琵琶湖ヨリ出デ近畿七國ノ水ヲ合
セ西ニ流レテ大坂灣ニ入ル吉野川北山川宮川ハ一源
三流ニシテ宮川ハ伊勢海ニ注ギ吉野川ハ紀川ト呼ビテ
紀海ニ入ル北山川ハ熊野川ニ合ヒテ南洋ニ注ゲリ山
陰山陽ハ地幅狹小ナルヲ以テ大河ナク由良川城崎川出
雲大川等ハ北ニ流レテ日本海ニ入リ吉備川旭川河邊川
大田川岩國川ハ共ニ南ニ流レテ瀬戸内海ニ注グ石見川
ハ獨其源ヲ山陽ニ發シテ山陰ニ流ル是ヲ兩道中ノ大川

トス九州嶋ハ其川流東西ニ分レテ筑後川最大ナリ球
摩川川内川ト共ニ筑紫三大河ト稱シテ西ニ流ル五箇瀬
川耳川大淀川ハ皆東ニ流レテ日向灘ニ注グ惟大野川ハ
東北ニ下リテ瀬戸内ニ入レリ四國嶋ノ水流ハ南北ニ
分流スベキニ吉野川嶋中ノ大河ヲ以テ東ニ流レテ鳴門
峽外ニ注グ其他ハ山脈ヲ分チテ肱川重信川共ニ瀬戸内
海ニ入リ四萬十川仁淀川ハ太平洋ニ注ゲリ
四大嶋ハ本支山脈ノ其中央ニ連リ亘ルニ因リテ國郡ノ
幅員ハ廣狹均カラズ然レ各大河ノ沿岸ハ平坦ノ地頗多
シ其最廣キ處ハ利根川荒川ノ左右ニシテ關東八州ノ平
野ト呼ビ四方五十里ニ亘リテ全國第一ノ沃野ナリ其次

ヲ石狩川ノ兩岸トス平坦三十里ナレバ今尚荒蕪セル曠
原ナリ木曾川ノ下流ハ美濃尾張ノ兩國ニ亘リテ其沿岸
ハ平坦ナルヲ二十里千曲川ノ下流モ亦越後ノ大半其左
右ニ沿ヒテ二十里ノ平野アリ北上川ハ上流ヨリ兩岸大
率平地ニシテ中流以下ハ十餘里ノ廣原其東西ニ連レリ
筑後川モ兩筑肥前ノ三國ニ亘リテ十餘里ノ平野ニ及ブ
其他諸大川ノ左右ハ必數里ノ平野アリテ且其際ニハ必
湖沼相並ビタリ
湖水ハ近江ノ琵琶湖ヲ第一トシテ常陸ノ霞浦コレ二次
グ其他ハ猪苗代湖八郎潟安道湖印幡沼及阿寒猿間楓蓮
ノ諸湖ハ共ニ周回十數里ノ湖ナリ

地方ノ稱呼ハ畿内八道ノ定名アレバ亦別ニ泛稱總稱ア
リ畿内ヲ上方ト呼ビ山陰山陽ヲ中國ト泛稱シ北陸ヲ北
國ト唱ヘ西海ヲ西國ト稱スルノ類アリ東海東山ハ常ニ
海道山道ト略稱シ又山道ヲ分チテ東海北陸二道ノ間ヲ
中山道ト云ヒ左右ニ海ヲ受クル處ヲ奥羽ト總稱ス關東
トハ海山兩道ノ東南隅ニシテ奥羽ヲ合セテ又東國ト呼
ベリ

國名ヲ呼ブニ某州ト唱フルヲ頗久シ故ニ關東八州奥羽
二州中國十三州西國九州等ノ稱呼アリ而テ一國ノ名ハ
畿内二城州山城和州大河州河内河泉和攝州稱アリ東海
ニハ勢州伊勢尾張駿州駿河豆伊武武藏房州安房ト呼ビ東

我同治年

山北陸ニハ、江州江近濃州濃美信州信加賀能州賀能佐州佐渡ト
唱フ、中國モ亦因州因幡伯州伯耆雲州雲出播州播磨藝州藝安長州長門等ノ
稱ヲ用牛、南海ノ紀州伊紀阿州阿波豫州伊豫土州土佐西海ノ
日州日向薩州薩摩對州對馬等皆呼ビテ通稱トス、其上下前後ニ
分テル國モ亦上野ヲ上州ト呼ビ、下野ヲ野州ト唱ヘ、又越
州越前備州備前肥州肥後ノ稱アリ、
國土ノ沿革ハ、西ヨリ東ヘ開ケ來リシ者ニテ、神武帝ハ、日
向ヨリ東征ノ師ヲ起シテ筑紫吉備ヲ平ゲ、遂ニ大和ヲ定
メテ帝都ヲ置ク、此時新ニ國造ヲ建ツル者、其近傍數國ニ
シテ、尾張美濃ヨリ東北ハ、悉蝦夷ノ住處ナリ、崇神帝始テ
將軍ヲ東國越國ニ遣リテ其土夷ヲ撫從セリ、景行帝西ハ

熊襲ヲ征シ、東ハ蝦夷ヲ伐チ、日本武尊常ニ其討定ノ任ヲ
受ク、成務帝ノ時東北ノ地大率王化ニ服シケレバ、山河ノ
形勢ニ從ヒテ、全國ニ數十ノ國縣ヲ置ク、是ヨリ國土ノ經
界始テ定ル、爾後五百年、其邦制ヲ傳ヘタリシガ、孝德帝ニ
至リテ、大化二年、新ニ國郡ノ制ヲ建テ、更ニ國司郡領ヲ撰
ビテ民治ヲ掌ラシム、又畿内ノ方域ヲ定ム、天武帝ノ時ニ
諸國ノ境界ヲ定メ、文武帝ニ至リテ法律政令ヲ頒チ、七道
ノ制始テ備ル、然レ本嶋ノ北隅ヨリ、蝦夷嶋ハ尚其制ニ依
ラズシテ夷地ニ委ネタリ、和銅五年、出羽國ヲ建テシヨ
リ征討數十年、遂ニ延曆中ニ至リテ坂上田村麿、悉土夷ノ
本嶋ニ在ル者ヲ平ゲ、松前海峽ヲ以テ華夷ノ經界トナス、

其後六百年ヲ經テ、蠣崎信廣逃レテ渡嶋ニ入リ、享徳中居城ヲ築キテ全ク蝦夷嶋ヲ領セシヨリ世々相傳フルヲ四百十餘年ナリキ、

明治元年、新ニ府藩縣ヲ置キテ國郡ヲ分治セシメ、又奥羽ヲ分チテ七國トシ、明年北海道ヲ建テ、始テ八道トナル。四年七月、藩ヲ廢シテ縣トナス、五年、琉球ハ内附シ、八年、千嶋悉我有トナリ、九年、小笠原嶋全ク我ニ屬セリ、十一年、郡區ノ制ヲ定ム、三府ハ、東京、京都、大坂ニシテ、縣ハ十五年、定メテ四十四縣トス、別ニ開港場五港アリ、即、外國ト通商交易スル處ニシテ、横濱武藏、神戶攝津、長崎肥前、新潟越後、箱館渡嶋是ナリ、而テ東京、大坂モ亦互市場ヲ置ク、

全國通下
官道

道路ハ、東京ヲ全國ノ基程ト定メ、西南ハ西京及赤間關熊本ヲ經テ鹿兒嶋ニ至ル三百八十九里、又東北ハ仙臺箱館ヲ過ギテ根室ニ達スル三百八十四里、通計七百七十三里、是ヲ全國ニ通ズルノ官道トナス、

物産ハ、金、銀、銅、鐵、鉛、錫、及石炭、硫黃ノ諸礦物ヨリ、水晶、瑪瑙等ノ寶石アリ、石材ハ、花崗、寒水等數十種ニシテ、木材ハ、檜、杉、松、檜、樺、楠、及竹、茅等、皆建築ノ用ニ供ス、培養ノ殖物ハ、茶、桑、葎、櫨、楮、漆、及木綿、烟草等ニシテ、米、麥、豆、黍ノ諸穀ハ、最富ミテ、全國ノ人民皆常用ノ食料タリ、又果實、海藻アリ、動物ハ、魚介ヲ常食トスレバ、川澤湖海ノ產、皆其料ニ充ツ、鯨節ハ、貴賤必用ノ食料ニシテ、鯨獵ハ、沿海諸國ノ一大利益タ

リ、鳥肉ハ、雞鴨鶴雁ノ類ヲ賞味シ、獸肉ハ牛豚猪鹿ニ及ブ、馬ハ其形長大ナラザレドモ、馳驅ノ技ニ堪ヘ、犬ハ銳敏ノ性少キモ、獵狗自逐殺ノ用アリ、酒鹽ノ製釀全國アラザル處ナク、味醂醬油ハ、海外ニ賞味セラレテ殊ニ有名ノ良品タリ、工作ノ物ハ生絲特ニ精良ニシテ、紙モ亦精滑堅硬ヲ極ム、織物ハ、絹布綿布麻布等ニシテ、燒物ニ、磁器陶器アリ、染物ニ、染布染革アリ、漆器ハ殊ニ有名ノ良品ヲ製シ、鍍器ハ刀劍斧鎌鍋釜鋤鍬ノ製造頗盛ナリ、金銀銅錫ノ器具ハ、高彫象嵌等ニシテ、木器ハ寄木埋木皆其絕技ヲ極ム、其他象牙鼈甲鯨鬚及籐竹諸細工ハ皆精巧ニシテ、彫刻術ノ巧ナルハ、文字畫圖ノ精細其刀却テ筆ノ上ニ出ヅト云フ

兩京

東京西京ヲ兩京トナス、西京ハ、延暦ノ舊都ニシテ、東京ハ、明治ノ新京タリ、兩京相距ル、東海道ハ、一百三十二里、中山道ハ、更ニ、六里半ヲ加フト云フ、

東京

東京ハ、武藏國豐嶋郡ニ在リテ、南ハ荏原郡ニ亘リ、東ハ葛飾郡ニ跨ル、東西三里、南北四里、街市ヲ分チテ、麴町日本橋京橋等十五區トス、戶數二十萬人口一百萬アリ、然レ、羈寓ノ出入ヲ算スレバ、常ニ一百三十萬ニ下ラザルベシ、

全都ノ地勢ハ、武藏野ノ東隅ニ居テ、南ハ江戸海ノ涯ニ沿

西京向
巨

東京ノ位置

東京ノ地勢

東ハ淺草河ヲ帶ビ、皇城其中央ニ在リ、高爽ニ倚リテ、平
坦ニ臨ミ、南ヲ霞關ト云ヒ、北ヲ九段ト云フ、共ニ坂路アリ
テ、高低兩地ノ經界ヲナス、低地ヲ下町ト總稱シ、高地ヲ山
手ト泛稱ス、總ベテ地勢ノ高處ヲ指シテ高臺ト呼ブ、故ニ
湯嶋臺三田臺ノ稱アリ、

皇城ハ、江戸城ト稱ス、北緯三十五度四十分ニ位ス、經度ハ東經百三十七度四十五分ニ當ル、本丸、西丸ノ兩城、相並ビテ、城溝數重アリ、
和田倉馬場先櫻田ノ三門ハ、西丸ノ東南ヲ擁シ、竹橋、田安
清水、半藏ノ四門ハ、本丸ノ西北ヲ環レリ、而テ內郭ノ東門
ヲ常盤橋ト云フ、石橋ノ製、最美麗ヲ盡セリ、其南ノ三門ヲ、
吳服橋、鍛冶橋、數寄屋橋ト云ヒ、北ノ三門ヲ、神田橋、一橋、雉

子橋トナス、雉子橋ノ外ハ、即九段坂下ナリ、而テ霞關ノ下
ハ、更ニ一郭ヲナシテ、櫻田ト總稱シ、虎門、幸橋、山下門等、相
圍ミテ、正南ノ外郭ヲ擁ス、○元老、大審ノ兩院、外務、內務、大
藏等ノ諸省、大率皆郭內ニアリ、又陸軍ノ諸兵營、及裁判所、
印刷局、工學校等ハ、共ニ其建築皆壯大ヲ極ム、東京府廳ハ、
幸橋ノ內ニアリ、○此城ハ、天正十八年、徳川家康始テ居城
ヲ築造セシ時、太田道灌ガ舊構ニ就キテ、其城郭ヲ大ニシ、
其後征夷大將軍ニ任ジテ、政權ヲ執ルニ及ビ、幕府ヲ開キ
テ、其職ヲ世襲スルヲ二百六十五年、故ニ大小ノ侯伯皆藩
邸ヲ府下ニ置キ、又旗下ノ諸臣、悉第宅ヲ設クレバ、往時ハ、
高門巨館、相連リテ、府內ノ人口、總計百五十萬ニ過ギシト

云フ、十五代將軍慶喜ニ至リ、慶應三年、政權ヲ朝廷ニ奉還セリ、明年詔シテ曰ク、江戸ハ東國第一ノ大鎮、四方輻湊ノ地ナレバ、宜シク親臨シテ、以テ其政ヲ視ルベシト、遂ニ陞セテ、東京トナス、實ニ明治元年七月ナリ、

豐嶋川ハ、荒川ノ下流ニシテ、西ヨリ來リ、千住ニ至リテ、大橋ヲ架ク、川流ハ、漸下リテ、綾瀨川ト合ヒ、西南ニ轉ジテ隅田川ト呼ブ、橋場令戸ニ沿ヒテ、真乳山ノ下ヨリ、淺草川ト云ヒ、又、宮戸川ノ稱アリ、是ヨリ下流ハ、街市兩岸ヲ夾ミテ、吾妻橋、廢橋ヲ架ク、御藏下ヲ過ギテ、忍川ヲ受ケ、又、神田川ヲ合スル處ヲ、兩國ト云ヒ、長橋ヲ架ケテ、本所ノ通路トス、稍正南ニ流レテ、新大橋ヲ過グレバ、中洲アリテ、水流相分

ル、是ヲ三叉ト呼フ、洲南ノ箱崎ヨリ、永代橋ヲ深川ニ架ク、橋下ハ、即河口ナレドモ、石川嶋、佃嶋相並ビテ、其中流ニ當リ、東ハ越中嶋ニ對シ、西ハ靈巖嶋、鐵砲洲ト河口ノ兩岸ヲ夾ミタレバ、築地ニ至リテ、始テ内海ニ會セリ、綾瀨合流ヨリ、此ニ至ルニ里、此川ハ、豐嶋、葛飾兩郡ノ界ニシテ、河東ハ、元下總ノ地ナレバ、兩國ノ名アリ、其水勢遲緩ニシテ、舟運ノ利、甚多ク、且、河幅ハ、五大橋其長各百間許、永代兩國、最壯大ナリ、故ニ都人ハ、直ニ大川ト呼ベリ、

内海ハ、芝浦ト總稱シテ、築地、芝濱ヨリ、南ハ高輪品川ニ亘レリ、即、江戸海ノ東北隅ニシテ、海底ハ、淺沙遠ク亘リ、一里以外ニアラザレバ、大船ヲ碇泊スルヲ能ハズ、海中ニ石堡

六臺アリ、安政中ノ新築ニ係レリ、
神田川ハ、神田上水ノ餘流ニシテ、其上流ヲ、江戸川ト云フ、
目白臺下ノ關口ヨリ分レテ、東南ニ流レ、小日向ヲ過ギテ、
牛込門東ニ至リ、東ニ轉ジテ、小石川門ニ沿ヒ、水道橋ノ下
ヨリ、湯嶋臺駿河臺ノ際ニ入リテ、兩崖相逼ル、漸下レバ、石
橋アリ、萬世橋ト云フ、是ヨリ神田川ト呼ビテ、柳原堤ニ沿
ヒ、淺草橋其下流ニ在リテ、鐵橋新ニ成ル、橋東ハ淺草川合
流ノ處ニシテ、牛込ヨリ、常ニ小舟ノ上下ヲ通ゼリ、○赤羽
川ハ、上流ヲ澀谷川ト云ヒテ、豐嶋荏原ノ郡界タリ、其源流
ハ、亦玉川上水ノ餘派ヨリ流レ來ル者ニシテ、内藤新宿ヨ
リ、南ニ流レテ、澀谷廣尾ヲ過ギ、三田麻布兩岡ノ間ヲ環リ

テ、東ニ流レ、赤羽ニ至リテ、漸舟行アリ、芝公園ニ沿ヒテ、芝
濱ニ注グ、其通衢ニ架クル一橋ヲ、金杉橋ト云フ、
忍岡、向岡、相並ビテ、西北ヨリ亘リ來ル、兩岡ノ間ニ、不忍池
アリ、下流ハ、即忍川ナリ、忍岡ハ、上野ト呼ビテ、公園ノ地タ
リ、其北ハ、谷中、白暮里ヨリ、長岡一帯、西北ニ連リテ、道灌山、
飛鳥山トナル、向岡ハ、本郷臺ノ東面ニシテ、忍岡ト相向フ、
故ニ此稱アリ、本郷ハ、湯嶋臺ノ北ニ連リテ、北ハ駒込、巢鴨
ニ亘レリ、其西面ハ、白山、丸山ノ地、相並ビ、小石川ノ上ニ連
リテ、湯嶋駿河ノ兩臺ニ亘ル、駿河臺ハ、舊稱ヲ神田臺ト云
ヒ、共ニ府ノ北ニ亘ル高臺ニシテ、神田川ヲ夾ミテ、相對セ
リ、○麻布ハ、西南ノ高岡ニシテ、東ハ西窪ヲ抱キテ、愛宕山

トナリ、其南ニ亘リタル三縁山ハ、増上寺ノ山號ニシテ、山内ヲ芝公園トナス、其西南ハ、赤羽川ヲ隔ツル高臺ヲ、三田トナシ、白銀、伊皿子、及高輪臺等、南ニ連リテ、海濱ニ沿ヒ、其南ハ、品川ノ谷山御殿山ニ亘レリ、

下町ハ、城東ノ平坦ニ連ル街市ニシテ、芝浦ニ臨ミ、浅草川ヲ夾ミ、南ハ高輪ヨリ、北ハ浅草ニ至リ、其中央ハ、内郭ノ城溝ヨリ、三條ノ溝渠ヲ、東西ニ貫キテ、内海及大川ニ通ジ、共ニ舟運ニ便ニス、日本橋、京橋、新橋ノ三橋ヲ、各溝ノ正中ニ架ケテ、府中南北ノ大路トナシ、金杉橋ヨリ、萬世橋ニ直行セル者ヲ、通町ト呼ブ、又常盤橋ヨリ、東ニ亘リテ、兩國、浅草ノ兩橋ニ至ル者ヲ、本町通ト云フ、日本橋ヲ、府ノ正中ト定

メ、品川、千住、板橋、新宿ノ四驛ニ至ル、其路程各ニ里餘アリ、○江戸橋ハ、日本橋ノ東ニ並ブ石橋ニシテ、其橋南ニ驛遞局ヲ置キテ、郵便發著ノ本局トナス、橋下ノ溝ハ、東南ニ折レテ、永代橋下ニ達ス、其間ニ鎧橋、湊橋アリ、日本橋ノ南北ナル通町、及本町通ハ、市塵大率、土藏、聖屋相列リテ、街路悉壯整ナリ、此街市ハ、共ニ日本橋ト稱セル一區ニシテ、通町ハ、南ヲ中橋ニ限リ、北ハ今川橋ニ至リ、又東ハ大川ニ沿ヒテ、兩國及濱町ヨリ、箱崎ニ及ベリ、京橋ノ溝ハ、八町堀トナリテ、靈巖嶋、鐵砲洲ノ間ニ至リ、新橋ノ溝ハ、汐留ト云ヒ、濱離宮ノ外溝トナリテ、内海ニ通ゼリ、京橋、新橋ノ間ハ、街市皆煉瓦ヲ疊ミテ、家屋ヲ建築シ、道路ハ、樹木ヲ植エテ三條

ノ經界ヲ定メ、中央ヲ車馬ノ通路トナシ、兩側ヲ徒步ノ處トナス、其間南北ハ町ヲ銀座通ト稱セリ、銀座ノ東ハ木挽町ト云ヒ、電信局ヲ置キテ、全國電線ノ中央ト定ム、其東ハ、即内海ノ涯ニシテ、築地ニ海軍省ヲ置キ、鐵砲洲ヲ外國互市場トス、濱離宮ハ、中ニ延遠館ヲ設ケ、金碧粧成シテ、外人ヲ饗待スル宮殿ナリ、以上ノ街市ハ、京橋ノ北ナル中橋ヨリ、南ハ八町堀靈巖嶋ニ亘リテ、京橋ト稱セル一區タリ、此兩區ハ、殊ニ繁盛ナル處ニシテ、府下第一等ノ街市トス、○神田橋外ヨリ、南ハ今川橋ニ至リ、北ハ萬世橋ノ左右ニ亘リテ、神田川ノ内外ニ沿ヒタル街市ハ、神田ト總稱セシ處ナルガ、又西ハ九段坂下ヲ限リ、小川町駿河臺ヲ弁セテ、神

田區ト定ム、萬世橋ノ西北岡上ニ、神田神社アリ、其西ニ昌平館アリ、神田川ノ崖上ニ臨ミテ、徳川氏ノ時ニ、湯嶋學問所ト稱セシ處ナリ、維新ノ始ニ、建テ、大學本校トシタリ、今尚寛政中造營セシ聖堂ヲ存ス、其西ニ師範學校男女兩曹アリ、一橋外ニ商業學校及大學豫備門ヲ置ク、其東ニ接シテ、一ノ大校アリ、學習院ト稱シテ、華族修學ノ講場トス、○新橋ノ南ヲ芝口ト云ヒ、以南ハ芝ト總稱スル一區ニシテ、愛宕下ヨリ、三田及白金高輪ニ亘レリ、其沿海ノ通路ハ、金杉橋ヨリ、本芝田町ヲ經テ、品川驛ニ至ル一里、是ヲ東海道ノ門口トナス、芝口ニ、瀛車休停館アリ、造營頗壯大ニシテ、鐵道ヲ橫濱港ニ通ズル七里、其發車ハ一日十回、館外ノ

石橋ヲ蓬萊橋ト云フ、卽汐留溝ニ架クル者トス。○神田川
以北ハ、下谷、淺草ノ兩區ニシテ、東西ニ分テリ、下谷區ハ、忍
岡及湯嶋臺ノ麓ニ亘リ、萬世橋ヨリ上野公園ニ大路ヲ通
ジ、又山下坂本ヨリ、北ニ亘リテ、千住驛ニ至ル支路ヲ金杉
通ト云フ、山下ニ瀡車休停館ヲ置キテ、中山道、陸羽街道ノ
鑄道ヲ通ズ、淺草區ハ淺草川ニ沿ヒテ、河岸ノ米廩ヲ御藏
ト云フ、南ニ職工學校アリ、其前路ハ淺草橋ヨリ千住ニ通ズ
ル正路ニシテ、人馬ノ通行最多シ、千住驛ヲ陸羽街道ノ門
口トナス、淺草寺ノ觀音堂ハ、有名ナル伽藍ニシテ、本堂及
二王門、五重塔皆頗廣大ヲ極ム、寺内ヲ淺草公園トス。○淺
草川ノ東ハ、北ヲ本所ト呼ビ、南ヲ深川ト云ヒテ、兩區ニ分

ツ、卽葛飾郡ノ地ナリ、豎川、小名木川ノ兩溝ヲ、東西ニ貫ク
ト三里、大川ヨリ中川、利根川ニ通ジテ、常ニ舟運ノ便アリ、
豎川通ハ、兩國ヨリ、東ニ亘リタル街市ニシテ、房總街道ノ
正路ナリ、内海ノ濱ハ、越中嶋洲崎等、石堤ヲ築キテ、海岸ヲ
限レリ、富岡神社ハ、深川ハ幡ト呼ビ、亦公園ノ設アリ、其東
ノ木場ハ、各種ノ材木ヲ蓄ヘテ、全都建築ノ用ニ供ス、
山手ハ、城西ノ高地ニシテ、麴町番町ハ本城ノ後背ニ當リ、
半藏門ヨリ四谷門ニ通ズル大路ヲ、麴町通ト呼ビ、其南北
ヨリ皇城及内郭櫻田ノ地ヲ并セテ、麴町區ト總稱ス、九段
坂上ニ靖國神社アリ、維新以來王事ニ死セシ者ヲ祀リテ、
一年二回ノ祭典ヲ行フ、永田馬場ハ、霞關ノ上ニシテ、日吉

神社アレバ、山王臺ト呼ブ、臺上新ニ公園ヲ設ク、臺下ノ溜池ハ、東ニ流レテ、虎門ノ外溝トナル、其西南ハ、赤坂、麻布ニシテ池ノ西隅ヨリ、外郭ノ城溝ヲ環ラシテ、東北ハ、江戸川ニ通ゼリ、其外郭ノ五門ヲ赤坂喰違、四谷、市谷、牛込ト云フ、麻布、赤坂、四谷、牛込ノ四地ハ、各一區ヲナセリ、赤坂離宮ハ、赤坂門外ニ在リ、本城焼亡ノ後、假ニ皇居ト定メ、太政官モ亦移シテ宮内ニ置ク、青山離宮、其南ニ接シテ、大宮御所タリ、○麻布區ハ、其東南ニアリテ、飯倉、赤羽ヲ限リテ芝區ト相接ス、○四谷ハ、甲州街道ノ通路ニシテ、内藤新宿ヲ其驛次トス、常ニ新宿ト單稱シテ、全府ノ西口トス、其傍ニ植物園アリ、○牛込區ハ、市谷ヲ并セテ一區トシ、陸軍ノ士官學

校及監獄署等アリ、○小石川モ亦一區ノ總稱ニシテ、小石川門外ニ砲兵本廠アリ、其後苑ヲ後樂園ト云フ、園後ヨリ長岡一帶西ニ連リテ、江戸川ニ亘リ、其隅ヲ曰白臺トス、岡上ハ音羽、大塚等ノ地ニシテ、護國寺ノ後山ヲ豊嶋岡ト云フ、○本郷ハ、湯嶋及駒込ヲ南北ニ列ネテ一區トナセリ、向岡ノ上ニ東京大學ヲ建テ、法學、理學、文學、醫學ノ四部ニ分チ、又病院アリ、校ノ西門ハ、本郷通ノ正路ニ向ヒテ、萬世橋ヨリ板橋驛ニ通グル者ナリ、是ヲ中山道及北國街道ノ官道トス、

抑下町ノ地ハ、往時海濱ノ泥沙ナリシカバ、低窪卑濕ニシテ、清泉ヲ得ルヲ能ハズ、徳川氏ノ世、早ク旣ニ引水ノ功ヲ

興シ、承應中、二條ノ水道ヲ開キテ、街路ノ底ニ渠樋ヲ通ジ、井ヲ各巷ニ置キテ、飲料ニ供ス、呼ビテ水道水ト云フ、即玉川、神田、兩上水、是ナリ、玉川上水ハ、多摩川ノ上流ヨリ、長渠ヲ分疏スル十三里、内藤新宿ニ至リ、始テ地底木樋ノ設アリ、本城内ヲ貫キテ、内郭ノ間ヲ環ル、其一派ハ、四谷門外ヨリ、赤坂ヲ過ギテ、芝口ニ至リ、南ハ芝濱ニ達シ、東ハ濱離宮ニ入リ、北ハ京橋南北ヨリ、築地ハ町堀ヲ環リテ、靈巖嶋ニ及ベリ、神田上水ノ源泉ハ、井頭池ヨリ、東流五里、目白臺下ニ至リテ、大堰ヲ設ク、故ニ關口ノ稱アリ、上水ハ、更ニ小渠トナリテ、後樂園中ニ注ギ、石渠ヲ地底ニ築キテ、水道橋ヨリ小川町ニ通ジ、日本橋ノ南北ヨリ、大川、神田川ヲ限リテ、

到ラザル處ナシ、又、千河上水アリ、板橋ヨリ本郷區ニ通ジテ、上野公園ニ及ベリ、下谷、淺草、本所、深川ノ四區ハ、其設置アラザレバ、飲水頗清良ナラズ、河東ノ兩區、殊ニ甚シト云フ、

公園ハ、上下貴賤共樂ノ遊園ニシテ、上野ヲ第一トナス、寛永寺ノ舊趾ナレバ、東叡山ノ稱アリ、地勢廣濶ニシテ、高樹鬱蒼タリ、且満岡ノ櫻樹ハ、開花ノ候最美觀ナリ、中央ニ博物館ヲ置ク、工藝史傳、天產等ノ諸部ニ分チテ、内外古今ノ品物悉備ル、又圖書館アリテ、群書ヲ貯ヘタリ、別ニ教育博物館アリ、○淺草公園ハ、觀音堂ノ奥山ト呼ビ來リシ處ニテ、技藝諸曲ノ興行及各種細工ノ展覽ヨリ、寫真アリ、楊弓

アリ、園内ニ花屋舗ヲ設ケ、園外ニ勸工館ヲ置ク、故ニ都下
遊覽場ノ第一ニ居リ、上野ハ幽清ヲ賞スベク、淺艸ハ繁華
ヲ覽ルベシ、○飛鳥山ハ、府下ヲ離ル、一里餘ナルモ、亦公
園ノ地トス、一堆ノ芝山ニ翠松紅櫻相交リテ、春時ノ觀更
ニ美ナリ、石神井川西ヨリ來リ、山麓ヲ環リテ、豐嶋川ニ入
ル、其瀧野川ト呼ブ處ハ、兩岸ノ楓林、秋後ノ紅葉、亦來リ賞
スベシ、川ノ北岸ニ王子神社アリ、○龜戸神社ハ、府東ノ勝
地ニシテ、其近傍ハ、梅園數莊アレドモ、卧龍梅最有名タリ、
○府ノ内外ハ、遊覽ノ地頗多キモ、向嶋ノ風景最美ナルニ
若カズ、隅田川ノ東岸ハ、三圍社ヨリ、木母寺ニ至リ、長堤一
里、是ヲ向嶋ト呼ビ、橋場今戸ト、河流ヲ夾ミテ、相對ス、堤上

ニ櫻桃柳ノ三樹ヲ植ウ、故ニ春秋ノ風光ヨリ、納涼觀雪共
ニ其境ニ適ヒ、前ニ隅田ノ清流ヲ帶ビテ、西ニ富士峯、北ニ
ハ筑波山ヲ望ミ、一年四時ノ景皆此地ニ集ル、是ヲ東京第
一ノ行樂境トナス、

西京

西京ハ、京都ヲ定名トナシテ、平安ヲ正稱トナス、東京遷都
ノ時ヨリ、相對シテ、西京ト呼ブ、山城國愛宕郡ニアリ、桓武
帝延暦十二年、始テ山背葛野ノ地ニ新都ヲ造營シ、明年詔
シテ、國名ノ文字ヲ改メ、且新京ヲ平安城ト名ケラレタリ、
其制度ハ、中央ノ正北ニ、大内裏ヲ建テ、二官八省ヲ置キ、
十二ノ城門ヲ開キテ、朱雀大路ヲ、正南ニ通ズ、其東西ヲ左

二官ハ太政官神
祇官
八省ハ中務省式部
省治部省民部
省兵部省刑部
省藏省刑部
省官内省

京右京トナシ、共ニ九條ニ分チテ、東西ノ隅ヲ、京極ト云フ、
右京ハ葛野郡ニシテ、左京ハ、愛宕郡ニ屬セリ、其大路ヲ、兩
郡ノ經界トナシ、周圍ニ、外郭ヲ環ラシ、正南ニ羅城門ヲ建
ツ、同帝ヨリ、七十一世、一千零七十四年間ノ皇京ナレドモ、
中世以來、兵亂屢起リテ、南北朝以後ハ、常ニ兵馬ノ場トナ
リシカバ、右京ハ、早ク既ニ郊墟トナリテ、一條二條ノ間、僅
ニ數坊ヲ存シテ、西ノ京ト呼ブ、其左京ハ、八條九條ヲ失フ
モ、南北ハ、一條ヨリ七條ニ至ルニ里、東ハ寺町通ヲ踰エテ、
鴨川ノ東ニ亘リ、西ハ千本通ニ至ル、寺町ハ京極ニシテ、千
本ヲ朱雀大路トス、其間一里、即現今ノ京都ナリ、戸數六萬
ニシテ、二十五萬ノ人口アリ、三條通ヲ以テ上京下京ノ兩

區ニ分ツ、

皇宮ハ、一條ノ隅ニ在リ、北緯三十五度零一分ニシテ、西經
四度零一分トス、永祿十二年、再修セシ後ノ規模ナレドモ、
禁裏御所ト稱シテ、紫宸殿、清凉殿等、其製造尚延曆ノ舊規
ヲ見ルベシ、周郭ヲ築地ヲ呼ビテ、九門ヲ設ク、其東ノ三門
ハ、寺町通ト向ヒ、西ノ四門ハ、烏丸通ト向フ、南門ヲ堺町ト
シ、北門ヲ今出川トス、築地内ハ、宮家及公卿ノ殿宅アリシ
モ、遷都ノ後、大率東京ニ移住セシニ因リ、宅趾ヲ開キテ、悉
遊苑トナセリ、○二條城モ、亦永祿中ノ築造ニシテ、城背ハ
千本通ニ接シ、正門ハ、東ニ向ヒテ、堀川ニ臨ミ、宮内省ノ支
廳ヲ置ケリ、堀川ハ、上流ヲ若狹川ト云ヒ、一條戻橋ヨリ、溝

渠トナリテ、南ハ九條ニ通ズ。○二條城ノ北ハ、聚樂西陣ト
呼ビ、其西ハ、即西ノ京ナリ、千本通ノ左右ハ、大内裏ノ舊墟
ニシテ、天曆元年、管原道真ノ靈ヲ、右近衛馬場ニ祀リテ、天
滿天神ト稱セシ者ヲ、北野神社トナス。

京中ノ市坊ハ、古昔ノ制度ヲ存シテ、道路正直ナリ、三條通
四條通ヲ、莊整ナル街路トナス。南北ハ、室町烏丸堀川通等
ニシテ、寺町通最繁華ナリ、三條四條ノ間ハ、誓願寺蛸藥師
錦天神四條道場等ノ地内ニ、楊弓土弓ノ射的場及音曲歌
舞ノ演戲場アリ、是ヲ新京極ト稱ス、抑佛寺ノ多キヲハ、三
府ノ第一ニシテ、數百ノ寺院、京ノ内外ニ並ビテ、堂塔皆莊
嚴ヲ極ム。京中ハ、一條ニ相國寺アリ、東山ノ南禪建仁東福

支那ノ古代國ノ南
北洛陽ノ舊墟
水ノ川アリ故
名ヅク我々
洛中洛外ハ蓋シテ
ヨリ始マル

西京地勢

ノ三寺及嵯峨ノ天龍寺ヲ并セテ、五山ト稱ス、五條ノ本國
寺、六條ノ本願寺相並ビテ、堀川ニ臨ム、東本願寺モ亦六條
ニアリテ、烏丸通ニ向フ、其西南ハ、九條ニ護國寺アリ、世ニ
東寺ト云フ、其門外ノ四塚ハ、羅城門ノ舊跡ニシテ、千本通
ノ最南ナリ、是ヨリ淀城ニ至ル一路ヲ、烏羽街道ト呼ビテ、
大阪ノ支路トス。○瀛車休停車場ハ、七條ニ在リ、鐵道ヲ西ニ
通ジテ、大坂及神戸港ニ至ル二十里、又東ハ近江ノ湖岸ナ
ル大津ニ通ズルヲ四里ナリ、

全都ノ地勢ハ、平坦數里ニ亘ルモ、西山北山及東山ノ連峯
三面相圍メリ、鴨川ハ、北ヨリ來リテ、街市ノ間ヲ流ル、河西
ヲ洛中ト唱ヘ、河東ヲ洛東又洛外ト呼ブ、其流二條ニ至リ、

巨堰ヲ西岸ニ設ケテ、支流ヲ分ツ者ヲ高瀬川ト云フ、慶長中ノ開疏ニシテ、長渠ヲ伏見ニ達セシメテ、全都ノ運輸ヲ淀川ニ通ゼリ、鴨川ハ、河幅頗廣クシテ、其水極テ清冷ナリ、然氏河中ハ砂礫相連リテ、數條ニ分流ス、御幸橋ヲ上流ノ荒神口ニ架ケ、中流以下ハ、三條四條五條ノ三大橋ヲ架ク、三條大橋ハ、諸方里程ノ基トスル所ニシテ、正東ノ大路ヲ、栗田口ト云ヒ、日岡逢坂ヲ歷テ、大津ニ至ル三里、是ヲ東北三道ノ門口トナス、又橋東ヨリ、直ニ南ニ亘ル者ヲ、大和大路トス、常ニ繩手ト呼ビ、伏見街道二里半ニシテ、伏見ニ到リ、南ハ奈良、西ハ大坂ニ至ルベシ、○白川ハ、如意岳ニ出デ、東ヨリ來リ、南禪寺ノ前ヲ流レテ、南ニ環リ、兩大路ニ、石

橋ヲ架ク、栗田ヲ白川橋ト云ヒ、繩手ヲ大和橋ト云フ、四條ノ北ニテ、遂ニ鴨川ニ注ギ入ル、四條大橋ハ、明治七年四月、鐵橋新ニ成リ、其長四十八間、最美麗ヲ極ム、三大橋ノ間ハ、兩岸ノ樓臺、皆清流ニ臨ミテ相對ス、四條橋ノ東西最盛ナリ、橋東ヲ祇園町ト呼ビテ、大和大路ト十字街ヲナス、其東隅ニ八坂神社アリ、社西ヨリ大和橋ノ左右ニ亘リテ、劇場酒樓等相列レリ、連山一列、其上ニ屏立スル者ヲ、東山三十六峯ト云フ、如意岳ヨリ、南ニ亘リテ、栗田山、花頂山、圓山、靈山、音羽山、阿彌陀峯、稻荷山等、相列リ、山勢明美ニシテ、峻嶮ナラス、是故ニ山水ノ清秀ナルヲハ、三府中ノ第一等トス、花頂山ニ將軍塚アリ、阿彌陀峯ニ豐國神社アリ、連山ノ麓

江戸紫糸古来ヨリ
名産ナリ大築谷
井ノ上ツツ生ハ
生アリ葉物ニ似テ
白花ヲ開ク其根ヲ
取り紫ノ染料トナ
ス今ハ向郡ニモ
有リ

西京著名産

ハ、知恩院長樂寺、高臺寺、清水堂、大佛殿、三十三間堂、泉涌寺、東福寺、稻荷社等ノ巨寺大社アリ、真葛原、鳥邊野等、其際ニ連レリ、○如意岳ノ麓ハ、栗田ノ北ニシテ、洛外ノ郊野ナレドモ、鹿谷、黒谷、神樂岡、聖護院、森等、相並ビテ、吉田社、銀閣寺、及真如堂、永觀堂アリ、此山麓ノ諸地ハ、南北ニ亘リテ、東山ト云フ、都人遊覽ノ處ニシテ、四時ノ景皆賞愛スベシ、而テ、四條ノ納涼、最繁盛ナリト云フ、
兩京ノ産ハ、皆製造ノ品物ニシテ、東京ハ、清美ヲ賞シ、西京ハ華麗ヲ貴ム、象牙、鼈甲、時繪、韋革ノ細工ヨリ、袋物、烟管、團扇、錦繪ノ類ハ、東京ノ名産ニシテ、江戸紫ノ色ハ、他國又其比ナシ、近來ハ、各種ノ器械ヲ置キテ、外國製ノ品物ヲ模造

友泉ハ画エシテ
京都祇園町ニ住
シ其画ヲトコロ
染ムニニ彩色ヲ以
テスルヲ榮明セリ
実ニ清和天皇ノ
御中ナリ

セリ、西京ハ、西陣ノ織物ヲ第一トス、錦、綾、統、縮、緬、羽、二重、天、鷲、絨、及唐織、金襴、緞子、縐子等、其製造スルヲ既ニ久シケレバ、京織ノ名、諸國ノ貴重セル所タリ、染物ハ、紅染ヲ最良トシ、模様ハ、友仙染ト呼ビテ、紅紫、黃綠、皆鮮明ナレバ、亦世ノ賞美スル所ニシテ、京染又鴨川染ノ稱アリ、燒物ハ、道、八、六、兵衛等ノ名工、皆清水及五條坂ニ住スレバ、清水燒ト呼ビテ、青花、赤錦ノ各種ヲ作レリ、栗田燒モ亦別種ノ陶器タリ、其他ハ、繡物、塗物、及打紐、組絲、扇子、色紙、光紅、白粉、針、香水、薰油、及金銀銅錫ノ諸器ハ、皆古來ノ製造ニシテ、其名最高シ、植物ハ、壬生ノ水菜、又絲菜ト呼ビ、他國ニテハ、京菜ト唱フ、聖護院ノ蘿蔔、稻荷山ノ松茸ハ、都人ノ最自慢スル所ナリ、

淺草海苔其味
今ハ大和ニ製
ス先海中ニ杓
等ノ麻采ヲ並
立シ海苔ランテ
之ニ所着ヤシメ
其所着ハル後
取テ之ヲ製ス
大和正ニテ此
麻采ヲビントス

然氏淺草海苔、其香味最清美ナルニ若カズ、實ニ東海名
産、名ヲ占ノテ、他方ノ及バザル所ナレバ、無雙ノ佳品ト
云フベシ、

畿内

畿内ハ山城大和河内和泉攝津ノ五國ナリ故ニ亦五畿内
ト云フ大化二年王城附近ノ國ヲ以テ其疆域ヲ定ム北ハ
近江ノ逢坂山ヲ限リ東ハ伊賀ノ名張川南ハ紀伊ノ背山
西ハ播磨ノ明石浦以內ヲ京畿ト稱ス諸道ノ制皆是ヲ基
本トナセリ東北ヲ東海東山北陸ノ三道トナシ西北ヲ山
陰山陽ノ兩道トナス正南ハ南海道ヲ帶ビ西南ノ隅僅ニ
内海ニ臨メリ南北四十餘里東西十七里歷朝ノ帝都其宮
居ヲ同クセズト雖氏大率皆此五國ノ内ヲ出デズ

山城 八郡

此國ハ山間ノ小國ナレドモ中央ノ地ハ甚平坦ナリ愛宕

畿内ノ位置及
國名

山ハ、高ク西隅ニ立チテ、丹波ニ接シ、高雄山其麓ニ峙チ、楨尾、梅尾ト相竝ビテ、清瀧川ヲ帶ブ、嵐山、老坂等、其南ヨリ、國境ニ亘リテ、山崎ノ天王山ニ盡ク、是ヲ西山ト稱ス、北山ハ、鞍馬山頗高ク、岩屋貴舟ノ諸山、其西ニ竝列シテ、棧敷岳其隅ニ聳ユ、北山ノ陰ハ、丹波近江ニ夾レ、山谷幽深ニシテ、大悲山最峻險ナリ、比叡山ハ、東隅ニ立チテ、都富士ノ稱アリ、其頂ヲ近江ノ界トス、如意岳其脈ヲ承ケテ、一帯ノ連山ヲ南ニ列ヌル者ハ、即東山ニシテ、伏見ノ桃山ニ接シ、其東陰ヲ山科郷トナス、醍醐牛尾ノ諸山、又其東ニ連リテ、近江ノ界ハ、即逢坂山ナリ、○國ノ南方ハ、栗子山、鷲峯山等、並ビ列リ、大和伊賀ニ接シテ、笠置山アリ、河内ノ境ニ洞峠アリ、抑

上加茂神社小別
産尾根導ヲ祀リ
下加茂ハ其母王
依姫ヲ崇ル

此國ノ舊名ハ、山背ナリシガ、桓武帝平安遷都ノ時、山河自然ニ城ヲナスヲ以テ、國名ヲ今字ニ改メラレタリ、山ハ、加茂川ハ、鞍馬岩屋ノ兩川、相合ヒテ、上下加茂ノ社前ヲ流レ、糺杜ニ至リテ、比叡山ヨリ來ル高野川ニ會シ、南ニ流レテ、京都ヲ過ギ、常ニ鴨川ト呼ビ、鳥羽ニ至リテ、桂川ニ入ル、桂川ハ、上流ヲ大堰川ト云フ、丹波ヨリ來リテ、其流急駿ナルモ、常ニ行舟ノ利アリ、清瀧川ヲ弁セテ、嵐山ノ麓ヲ南ニ流ル、一三里、遂ニ宇治川ニ會ス、源ヨリ五十餘里ノ長流ナリ、宇治川ハ、近江ノ琵琶湖ヨリ出デ、西ニ流ル、一五里、川ノ左右ハ、山水幽清ニシテ、宇治橋平等院喜撰岳橋小嶋等ノ名勝アリ、且地味茶ニ適ヒテ、其製造スル所ハ、全國

石清水神社八時
和帝御宇三應
神帝ヲ弘光ナリ

中ノ最上品ト稱ス、水流ハ更ニ下リテ、豐後橋ノ下ヨリ、支流ヲ分チ、中書嶋ヲ抱キテ、伏見ヲ過ギ、再相合ヒテ、淀小橋ニ至ル、橋下ハ桂川會流ノ處ニシテ、又淀大橋ヲ、木津川ノ河口トス、淀城ハ其兩橋ヲ、左右ニ受ケテ、河ノ南岸ニ臨メリ、○木津川ハ、山城川ヲ正稱トス、伊賀川、東ヨリ來リテ、明神大龍トナリ、又同國ノ名張川ト相會シテ、笠置山ノ麓ヲ流レ、木津ニ至リテ、舟運アリ、是ヲ大和街道ノ渡津トナス、川流ハ、西北ニ轉ジテ、淀ニ會ス、其流十三里、三大川相會スレバ、河水淀ム、故ニ淀ノ稱アリ、下流ハ、更ニ一大河トナリテ、西ニ流レ、攝津河内ノ間ニ入ル、即淀川ナリ、天王山ハ、男山ト兩岸相對シテ、國境ヲ限ル、男山ニ石清水神社アリ、故

ニ地名ヲハ幡ト云ヒ、其後山ハ洞峠ト相接セリ、○國中ノ平地ハ、大率河岸ニ沿ヒタル處ニシテ、桂川、鴨川ノ間、最平坦ナリ、即桓武帝ノ左右京ヲ建ラレシ處ニテ、其右京ノ舊地ハ、京都ノ西ヨリ、嵯峨、梅津ニ亘リ、北ハ舟岡山、蓮臺野、衣笠山、廣澤池等ノ勝地、又御室、太秦、及金閣、清涼等持、天龍、大覺等ノ諸大寺アリ、中ニモ、西隅ナル嵐山ノ櫻花、高雄ノ紅葉ハ、殊ニ美景ニシテ、春秋ニハ、都下ノ遊人、多ク來リテ、其風光ヲ賞スト云フ、伏見ハ、宇治川ノ下流ニ沿ヒテ、其北岸ニ臨メル小都會ナリ、人口ニ萬餘、京都ヨリ高瀬川ノ運輸ヲ受ケテ、淀川ノ通船、常ニ大坂ニ往返ス、其水程十里、且豐後橋ヲ大和ノ官道

トナシ、玉水、木津ヲ歷テ、奈良ニ至ルハ里、東北ハ、山科ヲ過
ギテ、大津ニ、直路四里ヲ通ゼリ、此地ハ、文祿中、豐臣太閤ノ
居城アリシ處ニテ、其跡、今尚桃山ニ存セリ、河ノ南岸ヲ、向
嶋嶺嶋ト云ヒ、又、巨椋沼アリ、周回五里、俗ニ大池ト呼ブ、亦
太閤ノ掘リ開キテ、宇治川ノ水害ヲ防ギシ處ナリ、

大和 十五郡

神武帝東征ノ始ニ、青山四周ト云ヒシ國ニシテ、遂ニ皇宮
ヲ此國ノ橿原ニ置セラレタリ、畿内中ノ大國ニシテ、南方
ヲ吉野山トナシ、西ハ葛城ニ上、信貴生駒等ノ山脈、相連リ
テ、河内ノ境ニ亘リ、東ハ龍門山、高取山、多武峯、及卷向三諸
春日ノ連山、並列シテ、其陰ヲ宇陀郡トス、中央ノ地ハ、平坦

數里ニシテ、畝傍山、耳梨山、天香山、其間ニ立テバ、三山ノ稱
アルモ、其二田間ノ小岡ナルノミ、
吉野ハ、國ノ南半ニ亘ル大郡ニシテ、三面共ニ紀伊ニ圍レ、
全郡皆山ナリ、其前峯ヲ金峯山トス、大峯其上ニ聳エテ、山
上岳ト呼ブ、群山ノ主岳ニシテ、稻村岳、大日岳等、吉野十二
峯ノ稱アリ、釋迦岳最高峻ナリ、其東ハ大臺原ニテ、紀伊伊
勢ニ跨レバ、三國岳ト云フ、深山中ノ高原ニシテ、南中、北ノ
三原ニ分レ、水流モ、亦三方ニ分レ流ル、故ニ又巴淵ノ稱アリ、
北山川ハ、南ニ流ル、一十里ニシテ、紀伊ニ入ル、其東流
スル者ハ、伊勢ノ宮川トナリ、其西ニ下リテ、吉野山ノ麓ヲ
流ル、者ハ、吉野川ニシテ、丹生川ヲ合セテ、紀川トナリ、其

流三十里ニ及ベリ、○吉野山ハ、金峯ノ麓ヨリ、河岸ノ際ヲ
呼ブ者ニシテ、滿山皆櫻樹ナレバ、世ニ一目千本ノ稱アリ、
此地ハ、南朝三帝五十七年、行宮アリシ處ニシテ、後醍醐
帝ノ山陵及吉水神社、如意輪堂等アリ、又村上義光、義隆父
子戰死ノ跡尚存セリ、其西南ノ谷際ニ、十津川アリ、源ヲ山
上岳ニ發シテ、天川ト云フ、河岸ヲ夾ム村里ハ、自山間ノ別
境ニテ、殿野村ハ、護良親王ノ潛匿セシ山里ナレバ、村民尚
南朝ノ遺臣ト稱セリ、水流ハ、屈曲シテ南ニ下ル、二十餘
里、大峯川ト呼ビテ、紀伊ノ熊野川トナル、
宇陀モ、亦山間ノ一郡ニシテ、山邊ト相並ビテ、國ノ東隅ニ
居リ、屏風、雌雄、貞平、三畝ノ諸岳、相峙チテ、伊賀、伊勢ト相接

セリ、其南ハ國見、高見、三國ノ諸山、國境ヲ限リテ、大臺原ニ
連ル、東川、西川、相集リテ、萩原川トナリ、遂ニ東ニ流レテ、伊
賀ニ入ル、宇陀川ト呼ビテ、名張川ノ一源ナリ、山邊ノ東北
ハ、山城ニ接シテ、名張川ノ下流ニ、月瀬ノ梅林アリ、
一國ノ川流ハ、吉野及宇陀山邊ノ三郡ノ外ハ、皆中央ノ平
野ニ會流シテ、大和川トナリ、西ニ流レテ、河内ニ入ル、長谷
川ヲ其正源トナス、初瀬山ヨリ流レ來リテ、多武三輪兩山
ノ際ヲ出ヅレバ、布留川、奈良川、富小川、龍田川ハ、北ヨリ入
リ、飛鳥川、重坂川、葛城川ハ、南ヨリ來リ、相合ヒテ、始テ舟運
アリ、

奈良ハ、又平城ト云フ、平野ノ北隅ニシテ、既ニ山城ノ界ニ

春日社、經津主命、天能屋根命、武甕槌命、武甕命、金銅佛像、身丈十寸、七世天子トハ、元明天皇、元正聖武孝謙、仁帝、祿徳光仁帝

接セリ、春日若草三笠ノ三山、其東ニ並立シ、佐保川、西北ヲ環リ流レテ、遂ニ南ニ赴ク、即奈良川ナリ、春日社、及東大寺興福寺等アリ、大佛殿ハ、聖武帝ノ鑄造セシ金銅佛像ヲ安置ス、其傍ニ正倉院アリテ、亦同帝ノ遺物ヲ藏シ、一千八百年前ノ服飾器具ヲ存セリ、此地ハ、元明帝始テ帝都ヲ定メ、左右京ヲ建テ、九條大路ヲ置レシヨリ、七世八十四年ノ皇居ニシテ、聖武孝謙ノ兩帝、最佛教ヲ尊崇シテ、諸大寺ヲ建立セリ、桓武帝遷都ノ後ハ、舊都トナリテ、今ハ僅ニ左京ノ東隅ヲ存スルモ、人口二萬、二條通、三條通等アリテ、尚南都ト稱セリ、其右京ノ舊趾ハ、西ノ京ト呼ビテ、西大寺藥師寺等ノ古寺アリ、其九條ノ地ハ、郡山ト云ヒ、大和大納言秀

桓原宮、梅萬上郡、桓柏原村、武傍山陵、大和高中郡、栗村

長ノ嘗テ居城セシ處ニシテ、今尚一萬餘ノ人口アリ、抑桓原宮ノ後ハ、歷世ノ皇居、其趾ヲ此國ニ存スル者、四十七故ニ山陵モ亦多ク、畝傍山ノ神武陵ハ、造營新ニ成リテ、其制最廣壯ナリ、神社ハ三輪、大和石上、龍田等、皆二千年前ノ古社ニテ、多武峯ノ藤原鎌足ノ廟ハ、談山神社ト稱ス、長谷ニ觀音堂アリ、龍田ニ法隆寺アリ、其他月瀨ノ梅、吉野ノ櫻、龍田ノ紅葉等、其名勝計フルニ遑アラズ、諸國ノ人、常ニ來リテ、名所舊趾ヲ遊覽スル者、甚多シ、呼ビテ大和巡ト云フ、

河内 十六郡

金剛山ハ、即大和ノ葛城山ニシテ、高ク東南隅ニ聳エタリ、

河内ハ大和ノ京ヨリ、持シタリ、ニテ淀川内ニアルヲ以テナリ

山腹ヲ楠正成ガ固守セシ早城跡トス此山ノ左右ハ山
脈相分レテ國ノ東境南境ニ繞リ亘レリ其大和ニ往來ス
ル者ハ金剛ニ上兩山ノ際ヲ平石峠竹内峠トシ信貴山ノ
北ヲ十三峠立石峠トス生駒山ノ南ヲ暗峠ト云ヒ北ヲ岩
舟峠ト云フ而テ其北端ハ洞峠ナリ山路共ニ險峻ニシテ
只大和川ノ北岸ニ沿フ一路ノミ近來修路ノ功成リテ車
馬ヲ通スベシ是ヲ龜瀬越ト云フ正南ハ紀伊ニ接シテ亦
紀伊見峠藏王峠九重峠等ノ險坂アリ其西隅ノ岩涌光瀧
天野ノ諸山ハ和泉ノ槇尾山ト相接セリ○國內ハ中央ヨ
リ頗平坦ニシテ上太子富田林等ノ諸邑アリ北ハ淀川ヲ
夾ミテ攝津ト相對シ河岸ノ要津ヲ牧方トス西モ亦同國

及和泉ニ連リテ平野直ニ内海ノ涯ニ亘レリ
大和川ハ二上信貴兩山ノ間ヨリ來リ石川ト合ヒテ國ノ
中央ヲ貫キ西ニ流ル一五里狹山池ノ末流ヲ并セテ遂
ニ攝津和泉ノ境ヨリ内海ニ注グ源ヨリ十三里中流以下
ハ漸運漕ノ便アリ此河道ハ元祿中ノ開疏ナレバ新大和
川ト呼ブ東條川ハ金剛山ヨリ出デ西條川ハ紀伊見九重
及岩涌光瀧ノ諸山ニ發スル者相集レリ其兩條相合ヒテ
北ニ流ル即石川ナリ○長瀬玉串ノ二川ハ大和川ノ分流
ニシテ岩舟峠ヨリ來ル寢屋川ト互ニ平野ノ間ヲ環流シ
相合ヒテ一河トナリ大坂城ノ北溝トナリテ淀川ニ入ル
即大和川ノ舊道ナレバ古大和川ノ稱アリ○狹山池ハ天

聖武帝ノ河
内ヲ割キテ和
泉ヲ置ク此國
古ク清泉アリ
ヲ以テ泉名ニ
置ク國名ニ
基リ
茅渟海ハ神武
帝克己命此
海ニ血ヲ流レ
テ茅渟海新
リ

野山ノ麓ニアリテ山中ノ溪流悉注ギ入ル崇神帝ノ時此地水少クシテ農業ニ妨アルニ因リ詔シテ此池ヲ作ラシム凡二千年ノ久シキ今尚其遺澤ニ賴ルト云フ

和泉四郡

畿内中最小ナル國ニシテ上世ハ河内ニ屬シ茅渟ト呼ビテ離宮アリシ地ナリ孝謙帝始テ建テ一國トナス西ハ淡路嶋ト内海ヲ抱ク北ハ攝津ニ包マレ南ハ苦嶋海峡ヲ限リ其間十五里東西七八里古ハ茅渟海ト云ヒ今ハ和泉灘ト呼ブ其海岸ハ佐野松原高師濱等平沙行松北ニ連リテ住吉浦ニ亘レバ風景頗明美ノ處ナリ
槇尾鉢峯牛瀧葛城神於犬鳴飯森ノ諸山ハ東南ニ連リテ

河内紀伊ノ境ヲ限リ山間ヨリ流れ出ヅル水流ハ石津大津津田近木岡田男里等ノ諸川アレドモ平時ハ水少ク霖雨ノ後ニ至リテ溪水ノ流路トナルノミ
堺區ハ大和川ノ河口ニ沿ヒテ攝津ノ界ニ跨レバ此名アリ大和橋ヲ大坂ノ通路トシテ相距ル三里南ハ紀州街道ヲ通シ岸和田信達ヲ歷テ山中越ヨリ和歌山ニ至ル十五里此港ハ永祿中ヨリ外國ノ商舶常ニ來泊シテ互ニ物品ヲ交易セシモ慶長中ニ至リテ其渡來ヲ禁止セラレタリ
富商舊家尚存シテ人口四萬街市ハ大小路ヲ東西ニ貫キテ南莊北莊ニ分チ海岸ヲ戎嶋ト云ヒテ碇泊ノ處トナス
開口神社及妙國寺南宗寺等アリ土人ハ鐵製ノ器具ヲ名

産トナシ、兵庫港ト海上十里、運漕常ニ盛ナリト云フ、

攝津 十二郡

淀川ハ、畿内中ノ大河ナリ、其本流ハ、近江ノ湖口ヨリ、安治川口ニ至ル、其流二十里ニ足ラザレドモ、近畿七國ノ水相集ル、故ニ河幅甚廣クシテ、水流最緩ナリ、行舟ノ上下スル者、晝夜絶エズシテ、運輸極テ盛ナリ、山城ヨリ來リテ、河内ノ境ヲ限ル、六里、江口ニ至リテ、分ル、川ヲ、神崎ト云ヒ、西流五里ニシテ、直ニ尼崎ニ注グ、本流ハ、西南ニ流レテ又分流スル者ヲ、中津川トナス、古ノ長柄川ニシテ、末ハ南北傳法ノ兩川トナル、本流ハ、尚南ニ環リ、櫻宮川崎ノ間ヨリ、西ニ轉ジテ、古大和川ヲ合セ、大坂ヲ貫キテ、安治木津ノ兩

住吉神社ハ、表筒ノ中、筒ノ底、筒ノ男神、神功皇后

川トナリ、各内海ニ入ル、此數川ノ海口ハ、即古ノ難波津ニシテ、數萬ノ商船常ニ碇泊シテ、帆檣林立、如ク、出入織ルガ如シ、安治川口最盛ナリ、海口ノ天保山ニ燈臺礮臺ノ建置アリ、貞享中、河村隨見安治、此川ヲ創開シテ、水利ヲ通ジタレバ、其名ヲ用牛テ、安治川ト呼ブ、其後再疏セシ時、此山ヲ築キタレバ、年號ヲ用牛ルト云フ、○神崎川以南ハ、東成、西成、住吉ノ三郡ニシテ、古ハ百濟郡アリシカハ、江南四郡ト云フ、西ハ難波津住吉浦相連リテ、内海ニ臨ム、住吉神社ハ、神功皇后ノ時、創建セシ古社ニシテ、社南ハ、大和橋ヲ隔テ、堺區ト相接セリ、東ハ阿部野猪飼野等、地勢平坦ニシテ、百濟野ハ、古郡ノ舊稱ヲ存セリ、其隅ノ一邑ヲ平野ト云ヒ

テ河内ノ境ト相接ス、百濟川其傍ヨリ北ニ流レテ大坂城
後ヲ繞ル、今ハ平野川ト呼ビテ、古大和川ニ入ル、
此國ハ大和ニ次グ大國ニシテ、淀川以北ハ丹波ノ境ニ至
ル十餘里、神峯勝尾妙見箕面等ノ諸山相重リテ、平野ナシ
河岸ハ山崎ヲ以テ山城ニ界シ、高槻芥川茨木吹田ノ諸邑
相並ビテ、瀛車ノ鐵道ニ當レリ、中山寺多田院及箕面瀧石
積瀧等ノ諸勝ハ山谷ノ際ニ連リ、丹波ノ境ハ殊ニ高峻ニ
シテ、劍尾山天王峠等アリ、此山脈ハ即西ニ走リテ、山陰山
陽兩道ノ中間ニ亘ル者トス、其山谷ヨリ出ヅル一庫川多
田川相合ヒテ、南ニ流レ、池田伊丹ノ間ヲ過グ、故ニ池田川
ト云フ、兩邑ハ酒造ノ地ニシテ、最名釀ノ稱アリ、川流ハ分

レテ兩派トナリ、東ヲ猪名川ト云ヒ、西ヲ藻川ト云フ、其ニ
神崎川ニ入ル、
尼崎ハ神寄川ノ海口ニ臨ミテ、大坂ヲ距ル三里、西宮ニ至
ル二里、西宮ハ中國街道ノ驛路ニシテ、京都大坂兩府ノ要
口タリ、兩邑以西ノ海濱ハ、和田岬須磨浦等相連ル十里、即
和泉灘ノ北ヲ限ル者ニシテ、其海上ヲ灘目ト云フ、五百崎
大石脇濱生田ノ諸邑ハ其海濱ニ列リテ、亦多ク酒ヲ製釀
スレバ、諸國ニ送致シテ灘酒ト呼ブ、

武庫山御影山摩耶山再度山等、一帯ノ山脈、其上ニ並列シ
テ、北陰ヲ有馬トス、而テ連山ノ西端ハ、鐵枵峯鉢伏山等相
並ビテ、播磨ノ神出山ニ連レリ、摩耶山ハ元弘中赤松圓心

が據守セシ城趾ニシテ、其麓ニ布引瀧アリ、下流ヲ生田川ト云フ、此連山ノ溪谷ヨリ出ヅル川流ハ、津戸、蘆屋御影、大石、川藻及湊川等アレドモ、平時ハ水ナクシテ、皆一條ノ沙礫ノミ、且流路ハ、大率高キ堤上ニ亘レバ、神戸ノ鐵道、其河腹ニ洞門ヲ穿テ、瀛車ノ通路ヲ築ケリ、○須磨浦ハ、播磨ノ明石浦ニ亘リ、淡路嶋ト相對シテ、白沙青松、相連ル一里、古ヨリ觀月ノ名所ト稱シ、且鶴越一谷等、壽永中、源平ノ古戰場タリ、

有馬ハ、山間ノ一郡ニシテ、湯山ニ温泉アリ、舒明、孝德兩帝、及白河法皇モ、行幸アリシ處ニテ、浴舎數十、春夏殊ニ盛ナリ、三田川、波豆川、有馬川、各郡中ノ水ヲ集メテ、相會シ、生瀨

川トナリテ、武庫山ノ東麓ヲ繞リ、南ニ流レテ、尼崎西宮ノ間ニ注グ、是ヲ武庫川トナス

神戸區ハ、五港ノ一ニシテ、慶應二年、始テ此港ヲ開キ、定メテ、外國ノ互市場トナス、東ハ生田川ヲ限リ、西ハ湊川ヲ夾ミテ、兵庫ト街市相連リ、人口五萬アリ、兵庫ハ、武庫港ト稱シテ、古ヨリ有名ノ良泊ナレバ、應保中、平清盛ガ、經嶋ヲ築キテ、舟泊ノ利ヲ謀リシ事アリ、和田岬、其西ヨリ出デ、大灣ヲ抱ク、岬端ニ石堡燈臺アリ、大坂ハ、運輸ニ便ニシテ、神戸ハ、碇泊ニ宜シ、兩地相輔ケテ、繁華ヲナスト云フ、湊川神社ハ、楠正成ノ墳墓ニ就キテ、社壇ヲ造營セリ、其西ナル福原ハ、亦清盛ノ安德帝ヲ擁シテ、皇居ヲ遷セシ都趾ナリ、

大坂ハ、三府ノ一ニシテ、中國西國ノ要津ニ當リ、北國ノ運漕モ、亦大率此地ニ來レリ、故ニ四方ノ產物、悉集リ、百貨融通シテ、商業最繁盛ナリ、東成西成ノ兩郡ニ跨リテ、人口ハ四十萬、全國第二ノ大都會ニシテ、東西南北ノ四區ニ分ル、○淀川ノ本流ヲ、大川ト呼ビ、天神天滿難波ノ三大橋ヲ架ク、長各百間餘、天滿橋下ハ、古大和川ノ合流スル處ニシテ、難波橋ヨリ中嶋ヲ抱キテ、兩派トナル、故ニ此二橋ハ分チテ兩架トナス、其兩派ハ、南ヲ土佐堀ト云ヒ、北ヲ堂嶋川ト云フ、其再相會スル處ハ、即安治木津兩川ノ分流スル處ニシテ、江子嶋ニ沿ヒテ、南ニ流ル、者ヲ木津川トシ、九條嶋ニ沿ヒテ、西ニ流ル、者ヲ安治川トス、東横堀、西横堀ハ、其

二大川ノ河水ヲ、南ニ引キテ、街市ノ間ニ兩溝ヲ通ズル者ナリ、又、長堀道頓堀ヲ西ニ通ジ、其水相會シテ、木津川ニ入ル、兩横堀ノ間ハ、府下ノ中央ニシテ、長堀以北ヲ、船場ト云ヒ、以南ヲ、嶋内ト呼ブ、道路正直ニシテ、堺筋心齋橋筋ヲ、繁華ナル通衢トナス、東横堀ニ、高麗橋ヲ架ク、府城ノ正面ニ當リテ、鐵橋ノ製ハ、我國ノ最初タリ、其他、日本橋心齋橋及四橋等、橋梁ノ數、全府中二百ニ近ク、且、釣橋、磁石橋等ノ奇巧アリ、

大川以北ハ、天滿天神ノ大社アレバ、地名ヲ天滿ト總稱セリ、東ハ、川崎ニ造幣局ヲ置キ、金銀銅貨ノ鑄造場、頗廣大ナリ、場南ヨリ大川ニ架クル一橋ヲ、川崎橋ト云フ、西ハ、梅田

高津ハ仁徳帝
ヲ祭リ生魂ハ
生國魂ノ神ヲ
祭ル
荒陵四天王ト
多ク聞天司
持國天司
司長長
司廣目天司
司

二停車場ヲ設ケテ鐵道ヲ西京及神戸ニ通ゼリ、
江子嶋ニ大坂府廳ヲ置キテ、築造新ニ成ル、九條嶋ヲ外國
人居留ノ處ト定メ、松嶋其南ニ接シテ遊園ノ設アリ、○道
頓堀ノ兩岸ヨリ、難波新地ニ亘リテ、戲場酒樓等軒ヲ列ヌ
レバ、總テ府南遊覽ノ地ト稱セリ、
長岡一帶相連リテ、北ハ府城ノ前面ヨリ、南ニ亘ル者ヲ、東
成西成ノ郡界トス、其岡上ノ街市ヲ上町ト總稱ス、南ニ高
津生魂ノ諸社アリ、南隅ノ茶臼山ハ、荒陵ト云ヒテ、四天王
寺ノ山號タリ、此寺ハ、聖德太子ノ建立セシ舊寺ニシテ、千
餘年ノ古蹟タリ、○本府ハ、古ヨリ難波津ト稱スレバ、津國
ノ稱アリ、又其字ヲ轉ジテ、浪華ヲ通名トス、仁徳帝ノ都趾

高津ハ仁徳帝
ヲ祭リ生魂ハ
生國魂ノ神ヲ
祭ル
荒陵四天王ト
多ク聞天司
持國天司
司長長
司廣目天司
司

ニシテ、且外蕃來貢ノ舟泊ナレバ、天武帝ノ時、京師ニ準ジ
テ、攝津職ヲ置キシト云フ、今ノ城郭ハ、天正中、豐臣秀吉ノ
築造セシ所ニテ、西門ヲ大手トシ、東南ヲ玉造口トシ、北門
ノ京橋ハ、即古大和川ニ架クル所タリ、此城ハ、高壁深地ニ
シテ、規模廣大ナリシガ、慶長中、城陷リテ、僅ニ本丸ヲ存ス、
其城樓モ亦近年兵火ニ逢ヒテ、空シク灰燼トナレリ、今新
ニ鎮臺本營ヲ城内ニ置ケリ、
產物ハ、山城ノ茶、攝津ノ酒ヲ最上品トシ、大和綿、河内木綿、
又其次タリ、池田炭、天王寺蕪、三田焼、有馬細工、及檜筵、藤筵
等ハ、津國ノ良產ニシテ、道明寺糴ハ、河内ノ名物ナリ、堺浦
ハ、鐵砲、庖丁ノ類ヨリ、金紗、段繒、紋羽織、真田紐等アリ、南都

奈良晒、奈良漬、奈良人形等ニシテ、墨毛亦此地ヲ名品トス。吉野紙、吉野葛、吉野漆等ハ、善良ノ產物ニテ、山中ハ銅及水晶、炭沙ヲ出シ、又藥種木材ニ富メリ。木津川ノ炭酸泉ハ、近來ノ發見ニシテ、御影石、白川石ハ、採切スルヲ年既ニ久シケレバ、全國一般、花崗石ノ定稱ヲ御影石ト呼ベリ。淀川ノ鯉、吉野川ノ鮎ハ、其ニ鮮美ニシテ、内海ハ鯛、鱧ヲ賞シ、神戸ノ女牛、殊ニ精肉ノ名アリ。大坂ハ諸國ノ產相聚レバ、土產却テ少ク、僅ニ藤、細工、鯨細工、烟管、烟袋一閑張及薄雪昆布等ノ數種アルノミ。

己正日本地誌要略 卷之一
ハ、奈良晒、奈良漬、奈良人形等ニシテ、墨毛亦此地ヲ名品トス。吉野紙、吉野葛、吉野漆等ハ、善良ノ產物ニテ、山中ハ銅及水晶、炭沙ヲ出シ、又藥種木材ニ富メリ。木津川ノ炭酸泉ハ、近來ノ發見ニシテ、御影石、白川石ハ、採切スルヲ年既ニ久シケレバ、全國一般、花崗石ノ定稱ヲ御影石ト呼ベリ。淀川ノ鯉、吉野川ノ鮎ハ、其ニ鮮美ニシテ、内海ハ鯛、鱧ヲ賞シ、神戸ノ女牛、殊ニ精肉ノ名アリ。大坂ハ諸國ノ產相聚レバ、土產却テ少ク、僅ニ藤、細工、鯨細工、烟管、烟袋一閑張及薄雪昆布等ノ數種アルノミ。

改正日本地誌要略卷之一 終

每冊定價金廿錢

明治十一年六月十九日 原版々權免許
明治十二年三月廿二日 分版御届
明治十五年十二月七日 改正版權免許
明治十九年五月三十日 出版納本

原版主
兼著述人

東京府平民
大槻修二
府下淺草區北富阪町廿五番地

出版人

大阪府平民
柳原喜兵衛
府下東區北久太郎町四丁目拾五番地

出版人

大阪府平民
三木佐助
府下東區北久寶寺町四丁目拾四番地

出版人

大阪府平民
岡島貞七
府下東區本町四丁目五拾九番地

入澤島